

占いの真実を語る



星座別 不倫占い

不倫は本当に悪なのか



目次

不倫占いの真実 9

- はじめに 9
- 不倫の恋はつらいか？ 14
- 聖書では不倫から生まれた子供が大活躍する 17
- 聖書と古事記では霊となった人間との性交渉をタブーとしている 21
- インドの神シヴァ神はセックスに夢中 27
- 秘密にしたいという思いが運を悪くする 33
- 性欲を隠すと精神異常になる 37

■ 十二星座別の性的欲求と男性編と 41

牡羊座	動物的な性欲が自慢の男	41
牡牛座	本当の性欲を隠し続ける男	43
双子座	恋愛ゲームを楽しむ変化男	45
蟹座	女性の性を崇拜する男	48
獅子座	女性を金で買えない誇り高い男	50
乙女座	女性を神聖化してしまう道徳男	52
天秤座	失神させないと満足しない完璧男	54
蠍座	魂が溶け合うまで満足しない男	56
射手座	女性の造形美に惹かれる男	58

- 山羊座 性は覚醒のための錬金術と知る男 60
水瓶座 女性を性の奴隷にしたい男 63
魚座 全ての女性を聖母にする男 65

■ 十二星座別の性的欲求と女性編と 67

- 牡羊座 恋する乙女なんて信じられない 68
牡牛座 経済力のない男なんてつまらない 69
双子座 恋愛ごっこを楽しむ永遠の少女 72
蟹座 献身的に奉仕するが見返りも要求する 74
獅子座 狙った男は他の女には渡さない 76
乙女座 将来性のある男にしか惚れない癒し系 78

- 天秤座 美しくてかわいい未成熟な男が大好き 80
- 蠍座 セックスを通して内面に宿る神に触れたい 82
- 射手座 私に近寄る男は志が高くないといけない 85
- 山羊座 男から自由を束縛されることを何よりも嫌う 87
- 水瓶座 道徳から外れた自由奔放な性生活を好む 89
- 魚座 強い性欲を突き立てられると満足する魔女 92
- 不倫に難易度はあるか？ 94
- 仕事が一番、家庭が二番、私は三番？ 98
- 誘いは彼から？ 101
- 毎日会ってはいけない？ 103
- デート費用はすべて男性持ち？ 105

- 自分の生活をすべて彼に見せないこと 106
- 不倫の二人は写真はとったほうがいいか？ 108
- 彼と結婚したらすべてうまくいくか？ 110
- 不倫で安らぎと発展はあるのか？ 111
- 彼を引き止めないこと 113
- 不倫の宿泊旅行は悲しみを増す？ 115
- 不倫すると奥さんと家族を恨むようになる？ 116
- 不倫の女ができると妻に大体ばれる？ 118
- 彼に責任を背負ってもらう？ 120
- 避妊をどうするか？ 131
- プレゼントはするべきか？ 134
- 相手のプライベートには近よらない？ 136

■恋の主導権は男性にはない	139
■古代中国の陰陽性エネルギーの教え	142
・妻は財という運命学の真意	142
・山と谷のオルガズム	146
・財運のときが結婚運であるという真意	148
■至福への道	149
生エネルギー	150
安全な道？	151
ゆだねる	152
愛の詩	153

■著者	161								
あけわたしのまぐあい									
死とは	159								
信仰	159								
語ること		158							
友情	158								
悲しみと喜び		157							
愛は失敗するもの					156				
依存心	155								
■最後に							155		
									159

不倫占いの真実

■はじめに

彼がはじめての男性だった場合、その男性が他の女性と話しているだけでも嫉妬して心が傷つくのはとても自然なことですし、純粋なハートだと言えます。同じように、彼女がはじめての女性だった場合、その男性が他の男性と話しているだけでも嫉妬して心が傷つくのはとても自然なことですし、純粋なハートだと言えます。まだ、性エネルギーの解放の仕方も学んでいないのですから。

しかし、結婚生活を経験した人、恋人が過去に何人かいた人、つまり性的

に大人であれば、嫉妬や恨みの感情につきまとわれるのは純粹なハートではありません。たとえ、その恋が不倫であったとしてもです。必ずといっていいほど、自己中心的な支配欲、相手を自分の思い通りに動かしたいという欲望・エゴが根底にあります。だから、相手に自由を与えるのを嫌がります。そして、そういう否定的な感情を内にためこんでいる人は、いいセックスをしていません。

カウンセリングをしていると強烈なエゴと支配欲にとりつかれた女性と男性が多いのに驚きます。こういった否定的な感情の根源は、性エネルギーです。すべてのエネルギーの根源は性エネルギーです。セックスでエネルギーが完全に解放されていればこんな否定的なエネルギーは蓄積されません。セックスでエネルギーが解放されていないので否定的なエネルギーが蓄積される

のです。はつきり言って、嫉妬や恨みがある人は、いいセックスをしていないのです。

本書籍は、大人のための恋の指南書です。恋は古代から**錬金術**と言われ、自分を覚醒に導くためのもっとも合理的な手法として知られていました。日本でも江戸時代までは、性にたいしてはともおおらかでした。性エネルギーの開放の仕方でも大衆は知っていたのです。しかし、明治時代になって近代キリスト教が日本にも入ってきて浸透してきたため、1人の男性に1人の女性しかパートナーになれないという掟みたいなのが出てきてしまいました。それと同時に性をタブーとする風潮も出てきました。芸能人が不倫をしたり、離婚したりすると週刊誌やTVは大喜びです。そして、母親が娘にセックスの技法を教えるという伝統もなくなりつつあります。

先日は五体不満足のO氏の不倫報道でメディアが騒いでいました。手も足もないO氏が若い女性と数人関係をもっていたようです。これって、すばらしいことじゃないでしょうか。身体障害者の男性を抱えている家族は、その男性の性の処理にとっても苦労しています。テレビで下着のCMを見た瞬間に、暴れだし母親や姉妹に襲い掛かるようなことも起きています。そんな身体障害者であっても人格を磨いていれば彼女ができるという事実は、希望を与えられるのだと思います。手足がない障害者でも、こう生きれば彼女ができるという見本を示してくれたO氏を賛美したいくらいです。

今までは、男性が外で働き、女性がそれを支えるというシステムが機能してきましたが、もうそのシステムは崩壊しています。女性でも実力があれば、

男性以上の収入を得ることも普通に可能になってきています。そんな時代の流れもあって、女性が開放されてきました。女性は愛したい生き物です。これからの男性は、そういった女性に愛される魅力をもっていないとなりません。給与を家に運ぶだけの男性は、愛されない時代です。

女性は正しいとか正しくないとかに束縛されない天賦の才能をもっているのですから、一途に愛したいか愛したくないかだけを判断基準にすればいいのです。男性は掟とか道徳と慣習を考慮して判断を間違いやすくなりますが、その殻を脱ぎ捨てればいいのです。

自立した男性と自立した女性のカップルは、とても発展的であり、至福への道歩んでいます。本書が至福への道歩む参考書になれば幸いです。

■不倫の恋はつらいか？

女性からの相談にのっていると不倫の恋はつらいという悩みがあります。正直言って、筆者は相談にのっていても悩みがまったく理解できません。なぜならば、女性は愛したい生き物ですから、愛すれば愛するほど幸せになるように設計されているからです。愛したい男性がいるのに、なぜ悩みが発生するのか？その根本がまったく理解できずに不思議です。

当たり前ですが恋を楽しんでいる人達は相談にはおとづれません。そして、相談におとづれない人達のほうが考え方はまともであるし、社会的な成功も信頼も勝ち得ています。しかし、なぜか週刊誌やTVなどは、そういう事例はまっ

たく報道せずに不倫は不幸になるといった事例だけを好んで情報発信しているように見えます。はつきりいつてそういう情報に洗脳された人達は独身でも不幸ですし、独身の相手と結婚しても不幸ですし、不倫相手と結婚できたとしても不幸になっています。ちよつと世間一般で言われている不倫している女性についての常識と筆者が個人的に知っている実際との比較をあげてみましょう。

- ・不倫すれば女性は心に傷が残るのか？ いいえ、愛する能力が成長します。
- ・家庭と愛人との間で板ばさみになっている彼も苦しいのか？ いいえ、彼も楽しいです。
- ・不倫だから彼との未来はないのか？ いいえ、生の衝動に従っている間は未来があります。

・不倫だから日陰の女なのか？　いいえ、自由でいて堂々としていてください。
・不倫だから悲しみと寂しさを味わうのは当然か？　いいえ、一人でも人生を
楽しんでください。

・不倫だから奥さんに嫉妬して当然なのか？　いつもジャージはいている家政
婦に嫉妬するのですか？

・じゃあ相手が独身男性だったら幸せになれるのか？　いいえ、無関係です。
相手は関係ありません。

・愛人は専業主婦に嫉妬するものなのか？　いいえ、専業主婦は不自由ですか
ら嫉妬の対象にはなりえません。

不倫はつらいという相談にのっていると、欲しいものは彼との結婚という
形だけなのか？　婚姻届という紙切れ1枚（戸籍制度ができたのは江戸時代

から)で人生が大逆転するという幻想を抱いているような狂った考え方を常識として信じている女性が多いのには驚きます。

これから、その常識をひとつづつ破っていきましょう。

■聖書では不倫から生まれた子供が大活躍する

ミケランジェロの彫刻でも有名なダビデという名前は聞いたことがあるでしょう。「血色の良い顔で、目が美しく、姿も立派」で、音楽や詩作に長けており、旧約聖書の詩篇の多くは彼の作によるものです。聖書には「琴が上手で勇士であり、戦士です。ことばには分別があり、体格も良い」とあります。

彼は戦士としても有能であったばかりではなく、神に対する霊的洞察力も豊かでした。イスラエル王国の2代目の王として起源前1010年から970年ごろまでの約40年間統治しました。

さて王となったダビデは、多くの妻がいましたが、ある日宮殿の屋上から見えた湯浴みをする美女バテシバの裸体を見て、彼は彼女を欲しいという誘惑を覚えました。そして王としての立場を用いて彼女を自らの寝所に招いて関係を持ったのです。つまり不倫ですね。そしてバテシバを自分のものにするために、バテシバの夫であり、自らの忠実な部下であるウリアを戦争の前線へ送り、ウリアはその地で戦死します。このようにしてダビデはバテシバを自らの妻として迎え、彼女は第一子を産みますが、その第一子は死にました。しかし、次に生まれる子がソロモンの栄華で有名なソロモンです。

預言者ナタンによってエディデア（主に愛されるの意）という名前を得て

祝福を受けます。ダビデの死後は、イスラエルの3代目の王としてその王位を確立します（BC971頃）。ソロモンは卓越した知恵と英知を発揮し、イスラエルをその黄金期に導きます。またダビデが果たし得なかった主のための黄金の神殿を建設します。世界各地との貿易によつて世界の富が彼のもとに集積します。その評判を聞きつけたシバの女王が彼のもとを訪れるなど、その権勢と評判は全世界的に響き渡りました。

旧約聖書というのは古代イスラエルの建国の物語です。その古代イスラエルが最も繁栄したのが、不倫から生まれたソロモンだったわけですが、神の祝福を受けた賢者であることは間違いがありませんね。米国の元大統領のビル・クリントンも出生に秘密があることはアーカンソー州では公然になっています。ビル・クリントンの父親は、彼が生まれる三ヶ月前に自動車事故で死んだことになっていますが、実は彼は本当は元アーカンソー州知事であつ

たウインスロップ・ロックフェラーの隠し子です。そう、あの世界のエネルギー、金融など産業界の主要な部門を支配している世界財閥のロックフェラー財閥の一族なんですね。日本を代表するある電器メーカー系の社長達も、創業者の隠された子供であるという事実もありました。

こんなふうに見ていくと、結婚という形をとっているから子供は良くなる、結婚という形をとっていないから子供はダメになる。こんな表面的な観点から、性と愛の問題を考えるのはとても現実的ではないことが分かります。

動物の世界、とくに馬の世界では、いいオスといいメスからはほとんど百パーセントの確率でいい馬が生まれることが分かっています。一回の種付け料金が、一千万円を越えることもあります。また、そういういい種馬をもっているオーナーは、いいメス馬でないと種付けを許可しません。種がよくても、

いいメスでないといい子供が生まれませんからですね。人間の世界も、実際は馬の世界と変わらないような気がします。つまり、形はどうあれ、いい男性（強さのある男性）といい女性（愛情のある女性）の間には、いい子供が生まれるのです。

では性におけるタブー、神が忌み嫌うものとは一体なんなのでしょう。それを次に解説していきます。

■聖書と古事記では霊となった人間との性交渉をタブーとしている

イスラエルの建国物語が旧約聖書なら、日本の建国の物語が古事記です。

その神話は、イザナギという男性の神とイザナミという女性の神が中心です。イザナギは、天地開闢において神世七代の最後にイザナミとともに生まれ、国産み・神産みにおいてイザナミとの間に日本国土を形づくる多数の子を儲けました。

しかし、イザナミが、火の神である軻遇突智（迦具土神・かぐつち）を産んだために陰部に火傷を負って亡くなると、愛する女を殺したという怒りからそのカグツチを殺しました。しかし、イザナミに逢いたい気持ちを捨てきれず、死後の世界である黄泉国まで逢いに行きますが、決して覗いてはいけないというイザナミとの約束を破ってしまったのです。そこで見てしまったのは、腐敗してウジにたかられ、雷（いかづち）に囲まれたイザナミの醜い姿でした。その姿を恐れてイザナギは死後の世界から逃げ出してしまうので

す。追いかけるイザナミ、雷（いかづち）、黄泉醜女（よもつしこめ）らに、髪飾りから生まれた葡萄、櫛から生まれた筍、黄泉の境に生えていた桃の実（意富加牟豆美命、おほかむづみ）を投げてイザナギは難を振り切りました。

そして黄泉国と地上との境である黄泉比良坂（よもつひらさか）の地上側出口を大岩で塞ぎ、イザナミと完全に離縁しました。その時に岩を挟んで二人が会話するのですが、イザナミが「お前の国の人間を1日1000人殺してやる」というと、「それならば私は、1日1500の産屋を建てよう」とイザナギは言い返している。その後、イザナギが黄泉国のケガレを落とすために「筑紫の日向の小戸の橘の憶原」で禊を行うと様々な神が生まれ、最後に天照大神（あまてらす）・月夜見尊（月読命・つくよみ）・素戔嗚尊（建速須佐之男命・すさのを）の三貴子が生まれました。イザナギは三貴子にそれぞれ高天原・夜・

海原の統治を委任したのです。

この物語が示していることは、肉体をもった人間が、肉体をもっていない霊的な存在（生きている人間以外の存在）に惚れてはいけない、性的な交渉をもつてはいけないということです。

さて次に、旧約聖書『創世記』、つまりアダムとエバの物語を見てみましょう。男性アダムと女性エバはエデンの園で生活していましたが、そこにはあらゆる種類の木があり、その中央には命の木と善悪の知識の木と呼ばれる木がありました。それらの木は全て食用に適した実でしたが、主なるエホバ神はアダムに対し「善悪の知識の実」だけは食べてはならないと命令しました。

地上天国であるエデンの園には、蛇がいてエバに近付き、「善悪の知識の木

の「実」を食べるよう誘惑したのです。女はその実を食べた後（墮落という）、アダムにもそれを勧め、2人は目が開けて自分達が裸であることに気付き、イチジクの葉で腰を覆ったとされています。この結果、蛇は腹這いの生物となり、神は2人をエデンの園から追放したのです。

ここで善悪の知識の実とは何なのか？ということですが、2通りの解釈があります。1つは、エデンの園とは霊的な世界であり、食べ物や衣類に不自由しないからエデンの園は天国という説。しかし、霊的な世界での性の交渉はつまらないので、肉体をもとうとして肉体を創造するための「秘密の知識」を盗んでしまったことを神は怒ったという内容ですが、そんな感情を神が抱くのかどうか？疑問です。2つめの説は、アダムとエバは肉体をもった健康な男女であったにもかかわらず、女性のエバが霊的な存在である蛇に誘惑され、性的交渉をもってしまったという内容です。

2つの説に共通しているのは、霊的存在は、肉体世界の性に干渉してはならない。肉体をもった人間は霊的世界の性に干渉してはならない。ということです。

つまり、死んでしまった恋人をいつまでも恋こがれるのは罪である。人間が人間以外の生き物と性交渉するのは罪であるということです。西洋の変態世界では、犬と人間が性交渉するようなショーが行われていますが、これなんかは完全な罪だということです。いつぼうで、生きている健康な男女のまぐあいなどは、その形態が不倫だろうが、独身者同士であろうが、どうでもいいということですね。

■インドの神シヴァ神はセックスに夢中

インドの神様、つまりヒンドゥー教には3人の神様がいます。そのうち2人が議論をされていて決着がつかないのでシヴァ神のところに行きました。そして家のなかに入っていくとシヴァ神は彼の妃とセックスに夢中でした。最初はセックスが終わるまで待っていようと思っていた2人の神様ですが、何時間待っていても行為は終わりません。待ちくたびれて怒った2人の神様は、「これから以降、お前は神ではなく男と女がまぐわっている姿となる」と言つて、シヴァ・リンガが作られたのです。

このように古代のヒンドゥー教は性にたいしておおらかであり、抑圧された

ものはありませんでした。インドの先住民族の村では、十代後半の若者達を1つの家に集めお互いに気に入った人とセックスをする習慣があります。おなじパートナーとは連続して3日までしか寝ることができません。そういう儀式を経て彼らが大人になるとどうなるのでしょうか。結婚すると離婚はないし、嫉妬や妬みとは無縁の家庭生活に入るので。若いときにすべての性的好奇心を満足させてしまったためです。

もしあなたに性にたいする好奇心がまだあるようなら、好奇心を満足させないと死んでも墓の中でセックスのことを考えるようになります。つまり自縛霊ですね。**性を抑圧しなければいけないという考え方は、近代のキリスト教が東洋にもたらしたものです。**もともとは、ゆつたりと時間をかけて何時間ともまぐわっていると瞑想状態になり覚醒に導かれるというのが東洋の伝統

文化でした。

■聖書に見る同性愛の世界

旧約聖書のノアの箱舟の物語りに実は重要なヒントが隠されているのです。神は地上に増えた人々が悪を行っているのを見て、これを洪水で滅ぼすと「神と共に歩んだ正しい人」であったノア（当時500〜600歳）に告げ、ノアに箱舟の建設を命じました。ノアとその家族8人は一生懸命働きました。その間、ノアは伝道して、大洪水が来ることを前もって人々に知らせたのですが、耳を傾ける者はいませんでした。箱舟はゴフエルの木でつくられ、三階建てで内部に小部屋が多く設けられていました。箱舟の内と外は木のヤニで塗ら

れました。ノアは箱舟を完成させると、家族とその妻子、すべての動物のつがいを箱舟に乗せました。洪水は40日40夜続き、地上に生きていたものを滅ぼしつくしました。水は150日の間、地上で勢いを失わなかったのです。その後、箱舟はアララト山の上にとまりました。40日のあと、ノアは鴉を放ったのですが、とまるところがなく帰ってきました。さらに鳩を放したのですが、同じように戻ってきました。7日後、もう一度鳩を放すと、鳩はオリーブの葉をくわえて船に戻ってきました。さらに7日たって鳩を放すと、鳩はもう戻ってきました。ノアは水が引いたことを知り、家族と動物たちと共に箱舟を出しました。そこに祭壇を築いて、焼き尽くす献げ物を神に捧げました。神はこれに対して、ノアとその息子たちを祝福し、ノアとその息子たちと後の子孫たち、そして地上の全ての肉なるものに対し、全ての生きとし生ける物を絶滅させてしまうような大洪水は、決して起こさない事を契約しました。

神はその契約の証として、空に虹をかけたのです。

ここまでは、皆さんもよく知っている物語りですが、ここから先が重要なのです。「さて、ノアは農夫となり、葡萄畑を作った。ある時、ノアは葡萄酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた。」(創世記9/20, 21) 前後不覚に寝ている、全裸の父親を見たノアの末息子ハムは面白がってあるいは恥ずべきものとして二人の兄達にそれを告げました。二人の兄達セムとヤフェトは、後ろ向きに歩いて行き、顔を背けたまま着物で父の裸を覆ったといえます。そしてノアは激怒し、末息子ハムの子供カナンを呪います。「カナンは呪われよ。奴隷の奴隷となり、兄たちに仕えよ。」(創世記9/25) さあ、摩訶不思議な物語ですが、裸が出てくることは重要な内容を示しています。

ふつうに考えれば、酔っ払いのおじいさんであるノアの裸を、息子のハム

が見て、兄に報告したの行為がそれほど大きな問題になるわけがありませんね。この話は実は、息子ハムが、父に同性愛的な欲情を燃やしたからだという説もあるのです。

聖書では男性同士のセックスを忌み嫌っています。創世記19章前半部「ソドムの滅亡」もそうです。ヤハウエの使い（天使）二人がソドムにあるロトの家へ訪れ、ロトは使いたちをもてなした。やがてソドムの男たちがロトの家を囲み、使いたちとセックスをするから使いたちを出すよう騒ぎました。ロトは二人の使いたちを守るべく、自分の二人の娘を差し出そうとしましたが天使のほうを要求しました。二人の使いたちは、ヤハウエの使いとして町を滅ぼしに来たことをロトに明かし、狼狽するロトに妻と娘とともに逃げるよう促し、町外れへ連れ出しました。ここで分かるのは、ヤハウエの使いとい

うのは、男性の姿をした美しい天使であることから、男性同士のセックスをさせるとソドムの男達が脅かしたという物語であり、しかも相手が肉体をもっていない天使という霊的な存在だということですよ。

結論として言えることは、健康な肉体をもった男女の性など、どんな形であつても、罪にはならないということなのです。罪になるのは、肉体をもった人間が、人間の肉体をもっていない存在（霊的存在と動物の両方があります）とセックスすることや、欲情すること、そして男性同士のセックスということなのです。

■秘密にしたいという思いが運を悪くする

これまで見てきたように、エデンの園で起きた事件も、エバが木の実を食べたことを隠したいという思いが、アダムを犯罪に巻き込んだと言えます。自分の正体を知られたくない、本当の自分を見せたくない、隠しておきたいという思いがあると、悪霊を引き寄せて運を下げていくわけです。

悪霊に取り付かれた人を見てみるとよく分かります。言葉が多く、その言葉は自分のことを良く見せようとする言葉ばかりです。正体を隠すわけです。恥をかくことを嫌がりません。実力がばれることを嫌がりません。自分の欠点を見せようとしません。分からないことを分からないと言えません。できないことを言い訳します。自分の正体を巧妙に隠すため、できる人、成功している人とのつながりを自慢します。それで、「あなたは結局なにをやるの?」「やりたいことをどこまでやったの?」という質問をされるのを嫌がりません。

だから、言葉を分析しているだけで、その人が悪霊にとりつかれて運のな
い人か、それとも運がある人かがわかるのです。ビジネスの場合も、男女の
恋愛の場合も、こういった観点から、見ていけば、驚くほど問題の本質がク
リアになり、つまらないことで悩むことがなくなります。ウソをつく場合も、
個性によってその特徴が異なりますから、四柱推命の生まれ日からわかる十
干別にそれを解説していきましょう。

- ・甲 理論と権力でウソを隠そうとする。
- ・乙 相手の様子に同調するふりをしてウソを隠そうとする。
- ・丙 まったく自分は無関心のふりをしてウソを隠そうとする。
- ・丁 ウソをつくことが相手にたいする思いやりだと信じようとする。

- ・ 戊 ウソを言うのは感情がたかぶったときだけ。
- ・ 己 思いつきで言うので、しばしばウソをつくが悪気はない。
- ・ 庚 ウソをついたほうが面倒臭くないという計算がある。
- ・ 辛 ウソを信じ込んでしまい、周囲はウソだと思っても本人は信じてる。
- ・ 壬 ウソをつくことで、相手を動かそうとする。
- ・ 癸 自分が不利にならないようにウソをつく。

さて、次からは、恋を通して覚醒するという話し（古代中国では房中術・古代インドではタントラ道）に入っていきますが、今まで説明したことが深く理解されていなければなりません。

■性欲を隠すと精神異常になる

多くの人、とくに男性は性欲を隠したがりです。まるで性欲がある自分を恥じているようです。江戸時代までの日本人は性にたいしてとてもおおらかでしたが、明治以降、西洋文明（実質的には人間は罪を背負って生きているということ）を洗脳するために開発されたキリスト教）がはいつてくるにつれて性はよくないものとしてタブー視され、親が子にセックスを教えることなんてなくなりしました。江戸時代までは、母親が娘にたいして、男の喜ばせ方を教えて嫁に出したものです。男の子には、女の子の扱い方を教えたものです。だから、経験から蓄積されたノウハウが子供に伝授される伝統がありました。が、今はネットや週刊誌や友人から間違った情報を仕入れる時代になってしまいました。

性を罪のように扱うのはキリスト教です。そのキリスト教の神とは、三位一体の神といわれ、父と子と精霊が一体となっている神です。ここで注目して欲しいことは、女性の神がないのです。世界の宗教のなかで、女性の神がないのはキリスト教だけです。男だけのオカマ神なんですね。最初から、女性蔑視の思想で捏造されたのがキリスト教です。決してナザレのイエスが開発したものではありません。ナザレのイエスはユダヤ教徒であり、教会のトップ達に反逆したテロリストでした。そしてマグダラのマリアという女性を愛し、自分が得た悟りをすべて教え込んだのです。だから、イエスの像というのは十字架に磔されている像ではなく、マリアと抱き合っている像であるべきなのです。実際、トマスの福音書でイエスは、神の国に入る手法を次のよ

うに説教しています。

ふたつのものをひとつにし、

内のものを外にし、

外のものを内にし、

上のものを下にし、

男が男でなく、

女が女でなく、

男と女をひとつのものにするとき、

あなたは神の国にはいるであろう。

つまり、男女が溶け合うようなセックスをするときに覚醒するとイエスは

言っているわけです。

中世のヨーロッパではそれを見抜いた頭のいい女性達がいましたが、魔女というレッテルを貼られて死刑になりました。西洋の社会から、ウーマンリブ運動が起こつてきたのもそういう歴史があるからです。

性欲というエネルギーは隠すとますます潜在化して、エネルギーが強くなり異常性を帯びてきます。性を罪悪視しているキリスト教国家に、性交中に女性の首を絞めて快感を得るとか、のこぎりで手足を切断して快感を得るとか、ウルトラ異常の世界があるのは、性を隠しているからです。おおらかな東南アジアの国には、そんな異常性は見当たりません。日本でも、異常性のあるのは、世間から立派だと評価されて、性欲を隠さないといけない職業についている人ばかりです。

さて不倫は性欲が満足していない場合におこります。十二星座をみると性欲の特徴がよくわかりますので解説していきましょう。相手がどういう性的欲求をもっているのか？相手を知っておくのも占いを勉強する大切な動機になります。

■十二星座別の性的欲求く男性編く

牡羊座 動物的な性欲が自慢の男

■性エネルギーの特徴

攻撃的で生殖行動としての性行動だと女性から思われるほど、感情に流されない。あまりにも、荒々しい行為が好みなので、自分が動物的過ぎると思うこともある。女性の要望にこたえるという気持ちがなく、自分の欲望に相手を従わせる。人の言うことには関心がなく、聞いている間も、次に自分が発言するチャンスを待っている。

■性的な才能

愛のないセックスでもかまわない相手だと、仮面をぬぎすてる。女性が達しないうちに自分が先に果ててしまっても後悔しない。自分がよければそれでよい。1日に4回までの性行為が可能なほど、タフである。性行為の途中で女性からああして欲しい、こうして欲しいという指示をされたくない。

■好きな性行為

一堂々と挿入し激しく交わりたい。コスプレなどの小細工は嫌いである。女性を服従させる荒々しい正常位と突き立てるような後背位がすきである。襲いかかって女性が恥ずかしがると燃えるタイプ。生きた女性を相手にしないマスターベーションではまったく満足できない。女性にマスターベーションをさせて観察するのは好きである。

牡牛座 本当の性欲を隠し続ける男

■性エネルギーの特徴

なかなか自分の本当の欲求を白状しないたたかきがある。見た目の表情からは想像がつかない本音を隠している。女性からは尊敬され、慕われ、崇拜されるとはじめて興奮する。社会的に有名な人ときあうことを喜びと感じ、自分もそうなりたいと思っている。地位もお金もある人にたいしては、極端にへりくだり、従順な僕になりきる。

■性的な才能

女性から誘われることを常に待っている。自分からは積極的に誘わないが、誘われる環境を熱心につくる。女性から拒絶されることがなによりも怖い。だから、口説くときには、お酒の助けを借りようとする。女性の飲み物に薬をいれるようなこともやってみたい衝動にかられるが、理由は、拒絶されると立ち直れないほど傷つくから。何人もの女性と交際していることを、お酒の

席で自慢したい。

■好きな性行為

女性が上になって、自分のペニスをまるでおもちゃのように扱い勝手に絶頂に達する光景に最も刺激をうける。女性の性器をとことんまで、観察したい欲求があり、その延長で舌をつかって奉仕するのが得意である。強い性欲をもっていて、自分をベットに押しおして、ズボンを脱がすような女性が好きである。出会う女性は、すべて自分の獲物にしたいという隠れた欲求があり、権力とお金をもてば、隙があれば飛びかかる。

双子座 恋愛ゲームを楽しむ変化男

■性エネルギーの特徴

世の中の変化についていきたいという思いがあり、できれば、自分で変化を起こしたい欲求がある。どんな環境におかれても、自分が常に一番儲かる立場になるように、戦略を練るのが得意である。理論的にみえるかもしれないが、本当は直感だけでものごとを決定するほうである。好きな女性、好きな仕事を手にいれるためには、ウソも平気でつくが、本人はその自覚もない。

■性的な才能

女性を獲得するための戦略を知的なゲームとしてとらえ、ものにすると飽きてしまう。自分と一緒にいることがどんなに女性にとって幸せで楽しいことかを演出するのがうまい。面白く生きたいというのがなによりも重要な

で、性も面白くなければならぬと考える。軽薄であとくされのない女性と遊ぶほうが楽しくて、尻軽の女性を選択することもある。

■好きな性行為

口で女性の体を刺激し、女性がどんな反応を示すかを観察するのが大好きである。とくに恍惚の表情を観察したいと思っている。女性に秘められたサド的、マゾ的な欲求を、自分の性技で開発して、プレイを楽しみたい。AVビデオなどを見て、あらゆる行為を自分でも試してみたいと思っているが、深入りはしない。自分と交わることがどれだけ女性に幸福をもたらすかということに常に訴えていたい。

蟹座 女性の性を崇拝する男

■性エネルギーの特徴

自分と交際する女性に、どれだけ安心感を与えられるかということをも重視している。女性の言うことなら、なんでも、聞いてあげたいと思っていて、女性に従うことで喜びを感じる。自分ひとりでは、自立してやっていくことができないので、強い女性にあらがれてしまう。感情的になることが多く、その感情を抑える努力をするが、まったく抑えられない。

■性的な才能

挿入して運動するという肉体の摩擦運動としてのセックスはあまり好きではない。女性から勃起を強制されたり挿入時間を長く要求されたりするとプ

レッシュャーになってしまふ。アナルセックスなどの普通でない本当の性的な欲求はパートナーには見せず、風俗で試してみることが多い。パートナーに對しては、性とは神聖なものであり、情欲的なものではないという演出をする。

■好きな性行為

いちゃいちゃとじゃれあうようなセックスで、オッパイをずつとむさぼっているのが好き。女性にウンチをしてもらったり、おしっこをしてもらったりして、それを観察するのが好き。自分は安全なところでいて、女性が欲情している姿を見たり、他人のセックスを見たりするのが好き。女性が主導権を握っていると感じるような女性上位、または、女性から縛られるといったことが好きである。

獅子座 女性を金で買えない誇り高い男

■性エネルギーの特徴

なにびとも、自分の主張には無条件で賛同しなければならぬという雰囲気を出している。一番欲しいものを絶対に手に入れるという欲望が強く、二番目に欲しいもので我慢するつもりはない。勇気をもって積極果敢に生きていくので、周囲の人はそれにひきずられていく。気に入った人には、とことん尽くしていくが、気に入らない人は簡単に捨てていく。

■性的な才能

自尊心が強いため、お金で女性を買うということをすると、自分は普通の女

性とセックスできないのかと悩み傷ついてしまう。自分が選んだ女性で、女性から裏切らない限り、自分からは絶対に裏切らないという信念がある。自分が選んだ女性から、愛想をつかされたり、見捨てられたりすると一生立ち直れないほどのショックを受ける。貞操観念や道徳観念が強く、それも無理して身につけたものではなく、自然に生まれ持ったものである。

■好きな性行為

男性が上になって、女性を支配しているという感覚を楽しみたい。後背位も好きである。王様のように振舞いたいという感覚を楽しむため、女性にはメイド姿をさせてそれを脱がしていきたい。肉体の結合欲求という点では意外とシンプルであり、いろいろな体位を試したいという工夫はなく、おなじ女性とおなじ体位で同じようなセックスで満足する。

女性から胸を愛撫されたり、背中を愛撫されたりすると喜ぶ。

乙女座 女性を神聖化してしまう道徳男

■性エネルギーの特徴

人と対立することを避け、どんな人になりたいしても愛想をふりまくが、その分ストレスがたまる。実力以上に自分を大きくみせたいため、無理に社会貢献をしようとする。口論になりそうな場合は、突然に発言しなくなるか、席を外して、難を逃れようとする。美しいもの、正しいものを見極める感性が鋭い。

■性的な才能

女性をお金で買うくらいなら、性欲を我慢するほうがまだ楽であるという倫理観を持っている。自分もめつたなことで浮気はしないが、女性にも厳しい倫理観を押し付ける。自分の隠れた性的な欲求を隠し、猥談にもあまり関心をもたない。性を神聖なものとして考えており、ポルノやAVを見ても、性的な芸術だと思う。

■好きな性行為

指と口を丹念に使って、女性のあらゆる場所を愛撫するのが好きである。隠された欲求を長い間抑圧しておく、のぞき、ストリップといった陰湿な風俗に関心を持つようになる。セックスを工夫するという発想がなく、いつもの普通の慣れた行為で十分に満足する。バイブやローター、ろうそくや鞭といった、道具を使う行為は好きになれない。

天秤座 失神させないと満足しない完璧男

■性エネルギーの特徴

何事も自分の理想通りの手法でうまくやろうとする完全主義者である。神経質で過敏なものごとに反応するため、人づきあいはあまりよくない。自分の繊細さを理解し、さらに相手にも、その繊細さを要求しがちである。人に説明することが苦手で、説明のないままに、自分流のやり方でおし進めようとする。

■性的な才能

自分をかっこよくみせようとするが、女性から見れば、つまらない男と思われてしまう。知的な女性を求め、学問がなく、新聞も読まないようなグラマーな女性には興味がない。あまり女性から頼られると責任を感じてしまうので、経済力のある女性を好む。自分の性的な快樂よりも、女性が絶頂に達したかどうかを見極めようとする。

■好きな性行為

女性が絶頂に達するなら何でもかまわないが、できれば女性が上に乗って勝手に動いて感じて欲しいと思う。時間をかけて女性の体の全体をゆっくりと愛撫するが、それはハウツー本に書いてある通り、手順通りにやればいいと思っっているから。女性のほうがどんどん、自分に触って欲しいところや愛撫して欲しいところを要求して欲しいと思っっている。女性から拒否されること、

自分のセックスが下手だといわれることが何よりも苦痛なので、できれば女性の指導の下で性行為をしたいと思っている。性欲が抑圧されると、ストリップやのぞきなど、女性と肉体の接触をしない風俗に通うようになる。

蠍座 魂が溶け合うまで満足しない男

■性エネルギーの特徴

非常に細かい部分に気になるタイプで、相手の女性がもう、つきあいきれないと思うほど細部にこだわる。もし、こうなったらどうしよう。もし、あんなになったらどうしよう。こんなことばかりを考えている。ものごとを楽観的に考える人を敵視し、何をやってもものごとは困難がつきまとうという信念が

ある。人をなかなか信用せず、自分の心も簡単には打ち明けない。

■性的な才能

自分の細かくて疑い深い性格を気にしないで愛してくれる女性なら、よろこんで奉仕したい。自分の知的レベルが上、女性が下というパターンになっ
てはじめて、心を許せるようになる。女性のあらゆる行動を管理し、自分の
思い通りに動かしたいという、奴隷的な欲望がある。自分の社会的な立場を
脅かすかもしれない女性とは、セックスをしたくない。

■好きな性行為

魂と魂が溶け合うような、数時間以上の肉体的な結合でないと満足しない。
結合したまま、朝まで眠っていると、はじめて凍っていた心が溶け出してリ

ラックスができる。心を許した女性に限り、女性の体のすみずみまで、たっぷり時間をかけて口で愛撫する。昼間の姿とは違ってかわり、ベッドのなかでは娼婦のような演出をして欲しいと思っている。

射手座 女性の造形美に惹かれる男

■性エネルギーの特徴

今の社会に必ず大きな不満をもっていて、新しいなにかをやりたいと常に何かを探している。新しいことをやるときのスリルと高揚感がたまらなく刺激的だと感じ、興奮をもたらす。現実離れた空想の世界に近いところで、ビジネスを考え、普通ではないことをやっついこうとする。高揚感のある仕事

をしている間の持久力はすばらしく、どんなに働いても、疲れを知らない。

■性的な才能

とにかく、グラマーが好き。モデルタイプ的女性なら、もう完璧に性欲を満たしてくれる。良妻賢母型の地味な女性では性欲が高まらない。腹が出ている女性に対しても性欲を感じない。性格が良くて知性的な女性よりも外見の良い美人が好きである。困っている女性がいると、助けてあげて、どうだ自分に惚れる価値があるだろうと自慢をしたい。自分は女性から援助されるのにふさわしい男だと自慢したいために、一生懸命に画策をする。

■好きな性行為

自分の性的な快楽よりも、女性の魂と溶け合って融合するまで、結合に時間

をかける。女性の立場になって考えることができるので、セックスは常に工夫があり、改良しつづけていく。女性の脚とお尻から異常に性的な刺激を受け、その次に乳房から刺激を受け、生殖器からはあまり刺激を受けない。魂の触れ合いができない女性なら、マスターベーションをするほうがましである。

山羊座 性は覚醒のための錬金術と知る男

■性エネルギーの特徴

男女の関係において、主導権は男がにぎって当然だと考えており、女性には良妻賢母を要求する。多くのものを経験するよりも、ひとつのことを徹底して掘り下げていき、その根底にあるものを悟る。なにをするにしても、地

球を支配する主の意思にあっているかどうかを、もつとも重視する。金銭だけを追い求めているように見られるが、実際は、精神的な豊かさ、精神的な修養を追い求めている。だれもが手をつけていない未開拓のビジネス分野を常に探し求めている。

■性的な才能

多くの女性を経験するよりも、一人の女性を徹底して研究して、その根底にある魂との触れ合いを楽しむ。そもそも性とは何なのか？をあらゆる本や古典的な哲学から研究し、やがて性とは人が悟りを得る最高の術だと知るようになる。

女性には、自分の家来であって欲しいと望み、性欲を発散する肉体の提供と同時に、ビジネス上の秘書役でもあって欲しいと望む。女性の胸のふくらみ、

スカートからみえる太もも、半袖からみえる脇など、なんにでも性的な刺激を受ける。

■好きな性行為

女性上位が好きで、女性が髪を振り乱し淫乱な姿をさらけ出し、一オクターブ高い声で鳴くことを希望する。声の低い女性には性的に反応しない。若い頃には、性的な経験が豊富な年上の女性から、セックスを教えてもらうことが好きである。経験をつむと、純情な処女を、墮落させ性感帯を開発していくことが好きになる。あらゆる体位を試してみたい。ハウツーセックスに書いてある内容は一通り実験してみたい。

水瓶座 女性を性の奴隷にしたい男

■性エネルギーの特徴

自由でいたいという欲求がすべての根底にあり、束縛されたり、命令されたりするのが嫌い。新聞やTVで言われていることにはまったく関心がなく、ものごとの根底にある真実を知りたいという欲求がある。周りの人を自分の信者にしたいという欲求があり、欠点が暴露される人とはつきあわない。君の知らない幸せの法則を自分は知っているよ。だから、自分についておいでという演出をする。

■性的な才能

女性から賞賛され、崇拜されたいと思っているので、自分よりも知性の高

い女性を辱めたいという欲求がある。人前では、さもカルト教団のリーダーのように神々しく振舞うが、寝室に入るとただのスケベである。自分が女性を満足させてやるという気持ちが強くと、女性が上になり勝手に動いてエクスタシーになるのを嫌う。性に関するあらゆる知識を仕入れ、性の大家のように振舞うが、経験不足はベッドの中でばれてしまう。

■好きな性行為

とつても感じるわ、とつても上手、というふうに着実に女性から褒められたいという欲求が強い。常に新しい体位や技法を試してみたいと思っており、女性はその服従しなくてはならない。自分が出かける全ての場所に、自分に服従してくれる従順な女性を配置しておき、たまに訪問すると歓喜して女性のほうから、男性のズボンを脱がさなければならぬ。こんな妄想を持っている。

自分よりも学歴の高いインテリ女性を知性で精神的にも肉体的にも服従させたいと思う。

魚座 全ての女性を聖母にする男

■性エネルギーの特徴

社会が認めている高貴なもの、すごいものに、憧れて、それを手にいれようとする。自分は人よりも知識があり、お金があり、実力があるという演出が得意である。実際に行動を開始するときの手法は、ノウハウ本には関心がなく直感だけで動く。研究熱心で、暇があれば本を読んだり、パソコンに向かつて、関心のあるテーマを分析している。女性から支配されたくない。かといっ

て、責任が発生する形では女性を支配したくもない。

■性的な才能

自分から女性を口説くことはないが、女性からアプローチされるように、自分の感性を見せつけて誘いのエサを常に撒く。過去世でエロスのことは何でもやってきたような感性をもっていて、肉体の結合という物質的なものには夢中にならない。女性の洋服や化粧にはまったく関心がなく、女性の魂を見ようとする。つまり、レズやオカマの人を一瞬で見抜く。恋にのめりこむことはないが、女性が恋にのめりこむように環境を一生懸命につくる。

■好きな性行為

ポルノやAVのような、変態的な体位、道具にはあまり関心がなく、女性を

■ 十二星座別の性的欲求〜女性編〜

奴隷にしてしまいたい欲望が全てである。売春婦であろうと、千人の男を知っている女性であろうと、まるで聖母のように扱われていると思わせる感受性がある。出張先のホテルでは、性欲が異常に高まり、おもわずデリヘルなどを利用してしまうことがある。女性を自分の信者にしてしまいたい。そうすれば、意見の食い違いがなくなり性的にも満足する。結婚する女性は、自分の欠点と自分の思想と自分の肉体をすべて許して愛さなければならぬと思っている。

牡羊座 恋する乙女なんて信じられない

■性エネルギーの特徴

男と恋をして、彼の本当の気持ちを感じて「うじうじ」するのが大嫌い。私のような立派な女性が、あんたみたいなダメ男の側にいてあげるんだから感謝しなさい。私のほうが、あんたより実行力があるんだから、私に指示しないですよ。自分の自立性と主体性を脅かすような、パワフルな男は避けたい。

■性的な才能

自分のいいなりになるような男にたいして、性欲をかきたてられる。男性に奉仕したりサービスしなければならぬような性愛は必要ないと思つてい。心と心の触れ合いをあまり信じていないためか、精神的なつながりをあま

り重視しない。複数の男性と交際することによってまったく抵抗がない。自分が誘った場合は、男が食いついてこないと激怒する。私が誘ってんだから乗りなさい。

■好きな性行為

男の上になって、自分が満足するまで自慰的な動きを楽しみたい。男を満足させてあげたいとは思わない。フェラチオをする場合も、自分がしたい場合にはするが、男を楽しませるためではない。あたりきの前戯などはいらない。結合こそセックスであり、肉体の結合そのものを楽しむ。レズビアの才能もあり、もちろん男役である。

牡牛座 経済力のない男なんてつまらない

■性エネルギーの特徴

女の子であることをうまく演出し、なかなか自分の本当の欲求を白状しない。たかさがあがる。男性からは要求されることを好み、その要求にこたえることで刺激を受ける。経済力と社会的地位のある男性とつきあうことを喜びと感じ、自分もそうになりたい。地位もお金もある男性にたいしては、極端に愛想が良くなる。

■性的な才能

男性から誘われることを常に待っている。男性が誘いたくなるような環境を熱心につくる。男性から拒絶されることがなによりも怖い。だから、男の無理な要求にもこたえようとす。無邪気に肉体をあたえ、口で男性に奉仕

するのも、拒絶されると立ち直れないほど傷つくから。自分が男性を乗りかえることには抵抗がないが、男性が他の女性に乗りかえることは許せない。

■好きな性行為

男性が上になって、自分の肉体を楽しみ、興奮していて、絶頂に達する光景に最も刺激をうける。男性の性器をとことんまで、愛したいという欲求があり、舌をつかって奉仕するのが得意である。強い性欲を隠していて、心を許した相手に限り、男性にして欲しいことを次々に要求する。出会った男性は、すべて自分に惹かれるはずという隠れた欲求があり、権力とお金のある男性には隙を見せる。

双子座 恋愛ごっこを楽しむ永遠の少女

■性エネルギーの特徴

世の中の変化についていきたいという思いがあるが、引っ張ってくれる男性を待ち望んでいる。物事が絶好調に進んでいるときでも自分は弱々しい女性という演出をするのが得意である。直感だけでもものごとを決定するハートタイプの女性であるが、その分、傷つきやすいハートをもっている。波乱万丈の人生は嫌いで、安定をもたらししてくれる男に近づき、守ってもらおう。

■性的な才能

ベッドの中では天真爛漫に男性を喜ばせようとするが、経験のない怖いプレイをさせられると拒絶する。押さえつけられたり怖いことが大嫌いなので、

自分が上になって自由に動ける女性上位のほうが安心できる。質実剛健で、経済的な安定をもたらしてくれる男性であれば、少女のように寄り添っていく。男性に対して安定以外のことを要求することがないので、一緒にいて楽であり、男性を自由にしてくれる。

■好きな性行為

性的な快楽を追い求めたいという気持ちがなく、普通のセックスを毎日しているでも飽きない。男性が仕事で疲れていて、勃起しないときでも、くつついていればそれで満足するので、男性も気が楽である。AVビデオなどでやっている普通でないプレイ、ムチやローソクなどを使うプレイは、怖いと思っている。男が喜んでくれれば、それでいいという程度の性欲しかなく、なにをされても怖くない程度なら受け入れてくれる。

蟹座 献身的に奉仕するが見返りも要求する

■性エネルギーの特徴

自分が気に入った男性には、好きという感情を伝えないと欲求不満になってストレスがたまる。見返りが期待できる男性に限って、愛にのめりこみ、全てを捧げたいと思う。自分ひとりでは、自分の内面の問題を解決できないので、男性には自分よりも精神的に高い素質を求める。感情的になることが多く、その感情を抑えようとも思わないが、それは感情の結合を求めているから。

■性的な才能

惚れた男性が心臓病をわずらっているなら、自分の心臓をあげるというくらい、愛情表現は強烈である。肉体を惜しげもなく与えるが、挿入してピストン運動をするだけでは、不満を感じる。仕事上の不満や人間関係のストレスも、強烈で長い時間のセックスによって浄化されると潜在意識では思っている。パートナーに対しては、セックスにはたっぷり時間をかけることを要求し、一時的な情欲では満足しない。

■好きな性行為

べたべたと触れ合い、じゃれあい、からみつき、噛み合うなど、あらゆる方法で、ひとつになる性の行為でやっと満たされる。セックスのメニューは豊富であり、なんでも試してみたい。どちらかというとマゾ的な傾向がある。男性を喜ばせるために、口と舌を使って、上手に男性に快楽を与えることが

できる。このとき、男性は歓喜しないといけない。

ホモを軽蔑している。なぜならば、男性の傷ついた魂を救えるのは、女である自分だと思っているから。

獅子座 狙った男は他の女には渡さない

■性エネルギーの特徴

男性から常にちやほやされていたい、賛美されていたいという気持ちがある。一番欲しいものを絶対に手に入れるという欲望が強く、二番目に欲しいもので我慢するつもりはない。勇気をもって積極果敢に生きていく男性が好きで、策を練って変化球勝負をする男は嫌い。気に入った人には、とことん

尽くしていくが、気に入らない人は簡単に捨てていく。

■性的な才能

強烈で激しい愛し合い方を好み、恋のことでうじうじするのは大嫌いである。激しく男性を愛するが、男性にも自分を激しく愛することを求める。世間体や浮気といった常識などには左右されない。デートをして、食事やお酒を楽しむよりも、ベッドのなかでお互いの肉体をぶつけあい、からみつくことで愛を感じる。貞操観念や道徳観念がよく、それも無理して身につけたものではなく、自然に生まれ持ったものである。

■好きな性行為

食事をしてからのセックスでは感じ方が鈍くなるので、まずはエッチが先と

いうタイプ。女性が上になって、男性を支配しているという感覚を楽しみたい。フェラチオも自分がやりたいときだけやる。自分が口で奉仕したら男性にも口で奉仕させる。クリトリスの刺激ではなまぬるい。強く、深く挿入されて膣全体で感じる刺激でないと満足しない。

肉体の結合欲求という点ではシンプルであり、おなじ男性とおなじ体位で同じようなセックスで満足する。激しさだけが重要である。

乙女座 将来性のある男にしか惚れない癒し系

■性エネルギーの特徴

男性と対立することを極端に嫌がるため、どんな人にたいしても愛想をふ

りまくが、その分ストレスがたまる。男性から必要とされることだけが重要であり、「して欲しいことはないですか？」が口癖。心が傷ついている男を発見すれば、その傷を治すために近寄っていく。強い男、経済力のある男、普通の人よりも一歩先を行っている男にしか惚れない。

■性的な才能

自分が愛した男には、成長して欲しいと思っていて、それを助けることに喜びを感じる。将来お金持ちになりそうな男を発見する才能があり、男が儲けたお金は自分のものとして使う。女性に妙にやさしい男や、女性に慣れた男には、魅力を感じない。無骨で純朴な男が好き。性を神聖なものとして考えており、ポルノやAVを見ても、性的な芸術だと思う。

■好きな性行為

指と口を丹念に使って、男性のあらゆる場所を愛撫するのが好きである。男性から必要とされると感じたら、男性のあらゆる欠点を許して愛して、どんな要求にもこたえる。セックスでは男性が動きたいように動いてもらい、それに自分をあわせていき絶頂に自分を導いていく。気楽な飲み会のような楽しいエッチが好きで、バイブやローター、ろうそくや鞭といった、道具を使う行為は好きになれない。

天秤座 美しくてかわいい未成熟な男が大好き

■性エネルギーの特徴

目上の人や権力に服従していて自由のない男には魅力をまったく感じない。若々しくて目上に反抗し、権力に反抗するような自由な精神をもった男に惹かれる。男性に服従しようとする気持ちはまったくない。男性からちやほやされることにも関心がない。常に世の中の道徳や倫理観に束縛され、恋愛を楽しいものにしようとすることができないでいる。

■性的な才能

自分を知的で優れた女性にみせようとするが、男性から見れば、つまらない女と思われる。知的な男性を求め、学問がなく、新聞も読まないような粗野で不道徳な男性には興味がない。あまり男性から頼られると責任を感じてしまうので、経済力のある男性を好む。自分の性的な快楽よりも、男性が自分の肉体に満足したかどうかを見極めようとする。

■好きな性行為

男性が絶頂に達するなら何でもかまわないが、できれば男性が上に乗って勝手に動いて感じて欲しいと思う。時間をかけて男性の体の全体をゆっくりと口で愛撫するが、それはハウツー本に書いてある通り、手順通りにやればいいと思うているから。演技をしたりされるのが嫌いなので、男性のほうがかかると、自分の肉体に魅力がないといわれることが何よりも苦痛なので、男性の強い要求の下で性行為をしたいと思っている。

蠍座 セックスを通して内面に宿る神に触れたい

■性エネルギーの特徴

自分には性的な魅力があると思っており、男性は自分の肉体に狂わなければならぬと思っている。ありのままの自分を愛しており、ウソをついたり、飾り立てることが嫌いである。ものごとを直感的にとらえ、理屈を考えて行動することはしない。男性をなかなか信用せず、自分の心も簡単には打ち明けない。

■性的な才能

とことんまで一人の男性を愛しぬこうとするが、惚れた相手にも、それなりの見返りを要求する。結婚相手は、マザコン男を選ぶことが多く自分が夫を操縦し、やがては夫の母親まで支配するようになる。嫁に行っても姑に負けない。男性のあらゆる性的な欲望を管理し、自分の思い通りに動かしたいと

いう、奴隷的な欲望がある。将来性がなくサラリーマン的な匂いのする男とは、それが夫であったとしてもセックスはしたくない。

■好きな性行為

心を許した男性に限り、男性の体のすみずみまで、たっぷりと時間をかけて口で愛撫する。どんな性的な欲望にも喜んでこたえる。魂と魂が溶け合うような、数時間以上の肉体的な結合でないと満足しない。結合したまま、朝まで眠っているとはじめて凍っていた心が溶け出してリラックスができる。その結果、自己の内面の深い部分に触れることができ、宇宙と一体になった感覚となる。男の隠している性的願望を察知し先回りして刺激をするのが得意である。

射手座 私に近寄る男は志が高くないといけない

■性エネルギーの特徴

今の自分に必ず大きな不満をもっていて、新しいなにかをやりたいと常に目標を探している。新しいことをやるときのスリルと高揚感が好きで、それに使える男を捜している。貧しい人を見ても、それは努力が足りない怠け者だとしか感じない冷徹なハートをもっている。男性からは自分は素晴らしい女性だと崇拜されることを望み、男性を見下している部分がある。

■性的な才能

物質的な安定と精神的な豊かさを女性に提供できない男には、関心がない。喜怒哀楽といった感情を整理しようとする気持ちがなく、感情のままに性を

楽しみ、オルガスムスに達しようとする。他の女性が獲得している経済力のある男を見ると、略奪したくなってしまう。男性から支配されることを好まないが、男性を支配することは好む。自分の言いなりになる男をみて興奮する。自分は地位も名誉もある男性から援助されるのにふさわしい女性だと自慢したいために、一生懸命に画策をする。

■好きな性行為

男性が自分の肉体に夢中になって、頼むからセックスさせてくれという哀願する光景を楽しみたい女王様気質。自分が上になって、男性を下にして、自分が気持ちのよい運動を好み、それを鏡で映して恍惚となる。男性のペニスを使って自慰行為をするのに近いセックスが好きであり、男性はそれを崇拜しなければならぬ。フェラチオも男性を喜ばせようとしてやることはない。

自分がくわえたいからやるといふ荒々しいもので優しさはない。すべての性行為において、自分がリーダーにならないと満足しない。

山羊座 男から自由を束縛されることを何よりも嫌う

■性エネルギーの特徴

男と女の関係において、知性は男のほうが優れていなければならないと考えており、TVの受け売りしか言えない男は軽蔑する。肉体の美しさや洋服の美しさなどを褒めてもらっても、まったくうれしくない。人が沢山集まるようなパーティなどを嫌い、目立つことを避ける。金銭に関してはとても厳しいが、実際は、精神的な豊かさ、精神的な修養を追い求めている。知的で洞察力に

優れ、常に挑戦するのが男性だと思っていて、意気地のない男は価値がない。

■性的な才能

多くの男性を経験するよりも、一人の男性を徹底して研究して、魂との触れ合いを楽しむ。そもそも性とは何なのか？をあらゆる本や古典的な哲学から研究し、やがて性とは人が悟りを得る最高の術だと知るようになる。男性から何かを学びたいと思っていて、最初に男の考え方に反応し、その次にペニスに反応する。男の隠された才能を嗅ぎ付ける才能があり、才能のある若い男を育成することに刺激を感じる。

■好きな性行為

知的で面白い男との会話から性的な刺激を受けるが、その男と結婚して男

に奉仕したいとは思わない。若い頃には、性的な経験が豊富な年上の男性から、セックスを教えてもらうことが好きである。本当の意味で性が開花するには長い年月がかかる。アナルなどの普通でないセックスはタブーである。情欲が先にたった性行動も拒否する。後背位の体位でも受け入れるが、それは満足する男の表情を眺めたいからであって、自分の性欲ではない。決まりきった体位、決まりきったセックスでも満足し、自分が頂点に達しないように微妙に自己をコントロールする癖がある。

水瓶座 道徳から外れた自由奔放な性生活を好む

■性エネルギーの特徴

社会の常識とか道徳といったことから外れた規格外の考え方が大好きである。自由でいたいという欲求がすべての根底にあり、束縛されたり、命令されたりするのが嫌い。新聞やTVで言われていることにはまったく関心がなく、ものごとの根底にある真実を知りたいという欲求がある。バイクでツーリングに出かけたり、アウトドアを楽しんだり、旅行が大好きな冒険家。

■性的な才能

社会的な地位や権力といったものに関心がなく、役職尽きの名刺を見せたがる男を軽蔑する。男の性的な欲望や社会的な欲求に理解があり、それをいいとも悪いとも判断せず、そのまま認めることができる。みんなに幸せになつて欲しいという思いがあり、男性が横柄に振舞うのを許してしまういっぽうで、ストレスもたまる。セックスには高尚さも必要なければ、精神性も必要なく、

重要なのは常に新鮮でいられること。上昇機運にある男のためなら、なんでもやってあげたいという感情が沸いてくるが、停滞している男は突き放す。

■好きな性行為

不意に抱きつかれたり、予期せぬ体位を要求されたり、大人のオモチャを使われたりという驚きを求めている。常に新しい体位、新しい技法、を試してみたいと思っており、男性はそれを研究して試さなければならぬ。もつたいぶらずに、さっさとズボンを脱いで挿入するような男が好きで、コスプレなどの小細工は好きではない。裸で抱き合っている時間は、楽しいゲームのようなものであり、結合している時間は運動する時間ではなく、じゃれあう時間である。

魚座 強い性欲を突き立てられると満足する魔女

■性エネルギーの特徴

自分の心が感じたことしか信用せず、実際の現実が見えていないことが多い。好きになった人にはどこまでも夢中になり、自分がだれだか分からなくなるくらいに融合していく。それだけに嫉妬深さはダントツ。自分の感性にあつた思想や宗教に傾倒し、人生のすべてを投入していく。結婚する男性は自分を自由にしてくれる害のない男が一番で、恋愛対象とは別である。

■性的な才能

礼儀正しいお嬢さんのような演出をするが、実は、強いオスから求められ

たいと願っている。自分から男性を口説くことはないが、男性からアプローチされるように、自分の感性を見せつけて誘いのエサを常に撒く。過去世でエロスのことは何でもやってきたような感性をもっていて、肉体の結合という物質的なものには夢中にならない。男性の地位や権力には関心がなく、その魂を見ようとする。つまり、ホモやオカマの人を一瞬で見抜く。平凡な男には自分を崇拜するように演出し、強いオスにはズボンを脱がしにかかる。

■好きな性行為

相手が結婚していようが、恋人がいようが極上の男だと判断すると、近寄っていく。男から求められると、アナルであろうと、鞭・縄であろうと、ろくそくであろうと、なんでも受け入れる。カッコをつけたセックスが大嫌いで、どんどん欲望を突き立てて、自分の肉体をもてあそんで欲しいと思っている。

男がもういいというまで、何時間でも奉仕的にペニスを口に含んでなめまわしてくれる。男の満足を見て、自分も幸せになれる。

■不倫に難易度はあるか？

共働きで子供がいない場合は、不倫の難易度が低く、専業主婦で子供がいる家庭の場合は難易度が高いと解説している本があります。つまり、彼が離婚しやすいのは難易度が低く、離婚しにくいのが難易度が高いというわけです。なんともつまらない理屈であって使えない理屈です。主婦という結婚生活を経験していないお嬢さんが書いた本ですね。

結婚という契約の形が幸せをつかむ最短で最高の道だと勘違いしています。

恋愛結婚して3年も経過しないうちに、結婚を後悔し、夫に生命保険をかけて、交通事故で死んでくれたらいいのにと文句を言う主婦の相談が多い現実を知っている筆者からみれば、女子高生の書いた本のほうがまだマシと感じます。

男性も女性も経済的に自立しており、社会的に活躍していて、家庭もしっかりしているという場合、最高の恋愛が楽しめるのです。今ある家庭をしっかりと運営している実力があるからこそ、相手から信頼されて恋愛ができるのです。今ある家庭に文句を言っているようでは実力がない証拠ですから、そんな人は男性であれ女性であれ信頼されないのです、楽しい恋愛はできないのです。

男性のほうが社会的な実力があれば、女性はそれにふさわしい女になろうと自分を磨くものです。女性のほうが社会的な実力がある場合は、男性はそ

れに追いつこうとして仕事も頑張るものです。つまり、平等という感覚をもつてつきあわないと本当の意味で、楽しい恋愛にはならないのです。競いあい、慰めあい、親友としてつきあい、男女のまぐあいも楽しむというつきあい方こそが、もつともお互いが輝ける関係なのです。

相手に配偶者がいようが、親と同居していようが、子供がいようが、そんなものは関係ないのです。実力のある人は、男性であれ女性であれ、どんな環境におかれても、その環境にまけないどころか、プラスに転じてしまうだけのパワーと強運をもっているものです。

不倫に限らず、恋愛のレベル（難易度ではない）というのがあります。男性がかかなり年上で経済的には裕福で、女性のほうがかなり年下で経済的な援助をうけている場合、この恋愛のレベルは普通です。なぜなら、女性は男性の

経済力に依存し、男性は女性の肉体に依存しているからです。金で若い肉体を買っているわけです。男性にお金がなくなれば、終わりです。女性が年をとって肉体の張りがなくなれば終わりです。ただ賢い男性なら、女性の若い感覚と感性を吸収し、仕事に生かしていくことでしょう。賢い女性なら、男性の社会的な行動を学び、成功するためのノウハウや考え方を吸収していくことでしょう。

男性に経済的な余裕がない場合、不倫などはできません。もしできるとしたら、詐欺師的な才能があつて、言葉だけで相手を信じこませてしまうタイプの男性です。筆者もそういう男性を数人知っていて、いずれも若い愛人とつきあっています。興味があつたので、うまい酒をご馳走するという名目で女性を呼び出してもらい、いろいろな話しを聞きましたが、はっきり言って、

つきあってプラスになるような女性とは思えませんでした。それから、TVに出てくるからと言ってそれで男性の価値を判断する女性もいますが、まるでお馬鹿です。なぜTVに出るのかと言えば、金を稼げないから、TVに出て顔売ってそれで商売をしたいから出るのです。貧乏であることを隠すためにTVに出たがるのです。金を稼げる手段をもっている企業家は、TVには関心がありません。TVを見ることもありません。

■仕事が一番、家庭が二番、私は三番？

女性からの相談でこういうのがとても多いようです。私を一番にしてよという要求を男性にしたいという相談です。相手を自分の思いのままに支配し

たいという恐ろしい相談です。

男性が、もし女性からこんな言葉を聞かされたら、「そのとおりだ、お前は三番だ、それが嫌ならもう終わりにしていい。」と決断することです。女性の肉体に執着して、ごまかしていると、どんどん女性の欲求が自己中心の醜いものになってきますから。ここで重要なのは、男性のほうがハッキリしていないと、女性の精神状態がおかしくなってくるということです。

おそらく、男性の本音としては、仕事が一番なのは当然です。これから生きていくためのお金をすべて女性がすべて出すと言って十億円くらいの現金をくれるというなら別ですが・・・。結婚して子供がいる場合は、子供を一人前にして社会に出すというのは義務ですから、これも当然です。そして三番目が恋の相手です。

勘違いしてはいけないことがあります。恋の相手に、責任をもとうとするとおかしくなります。責任をもつということは、相手を自分の思うとおりにコントロールすることにつながります。つまり、相手を不自由にすることです。責任をもつから仕事をやめろ、責任をもつから住居はここに住め、責任をもつから車はこれを買え、責任をもつから日々の食事はこれにしろ、どんだん相手を管理下において相手を不自由にしていきます。不自由にされた女性というのは百パーセント、男性を恨むようになります。もともと人間の魂は自由を求めるように設計されているからです。

仕事が一番、家庭が二番、私は三番？といった言葉を出すということは、女性が愛されたいという間違った感情をもってしまうからです。女性は愛したい生き物です。愛されたいのは男性のほうです。だから、何番でもいいから、男性を愛したいのかどうかだけが重要なのです。ほかに愛したい男

性がいるなら、さっさと別れたほうがいいのです。彼から愛されたいなんていう欲求は、女性が本来もっている愛の中心になれる素質を捨てている間違った欲求です。

男性が四十歳代の経営者で女性が二十代の若い場合でも、一見すると完成された大人の男性から愛が出発して、その愛を受け止めるのが若い女性だと思われていますが、そうではありません。ものごとの考え方、成功のノウハウなどは男性から発信して女性が受け止めることができますが、愛に関しては、男性はいつまでも若い女性から愛されたいのです。

■誘いは彼から？

女性から誘って断る男性はほとんどいません。俺もまんざらでもないとうぬぼれるだけ。だから、誘うのは男性からすべきであり、女性がどんなに愛したい男性がいたとしても、女性から誘ってはいけないというルールを主張するカウンセラーがいます。これなんかも女性が本来もっている愛したいという本能を無視したものです。たしかに、女性から誘われたら、男性はいい気になるでしょう。うぬぼれることもあるでしょう。それでいいのではないのでしょうか。いい気になって、うぬぼれていると、女性はやがて愛したくなくなりません。そのときになって、「あなたのようなうぬぼれ屋を愛したくはありませぬ」と言えればいいのです。

トラブルを未然に防ぐという策をねっているようでは、成長はありえませぬ。どんどん新しいトラブルを発明して失敗して、反省し変化していくことが、成長になるのです。ビジネスも同じです。成功している人ほど新しい失敗を

発明するのが上手です。

■毎日会ってはいけない？

毎日会っていると、男性は新鮮ではなくなるから、毎日とは会わないほうがいいと言うカウンセラーもいます。筆者も、毎日とは会わないほうがいいという考え方ですが、それは、自分ひとりでいる時間こそが、自分の内面をみつめ、考え方を修正するのはどこかを熟考できる貴重な時間だからです。

決して、毎日会っていると、異性の肉体に飽きるといったことではありません。相手に飽きるといときは、自分に飽きているのです。自分の考え方に飽きており、自分の生き方に飽きており、自分のものの見方に飽きているわ

けです。こういうときは、誰にあつても、どんな偉い人の話を聞いても、新鮮ではないのです。

ひとりで図書館をまわり、本を読み、旅行し、歴史を学び、新しい技術を習得するといった時間を犠牲にしてまで、毎日会う必要はないということですね。二、三週間に一度会うくらいでも十分ではないかと思えます。とくに、セックスに関しては回数をするよりも一回の結合時間を数時間以上とるといふほうがはるかにいいです。結合の一体となった感覚が、そのあとしばらく感覚として残っていて、エネルギーが穏やかに循環しているのが分かるのです。一回の結合で、十分以下しかない場合は、性交してもしても満足したという感覚はすぐに失われてしまい、毎日しても、まだしたりないというふうになつてしまいます。いわゆる性欲異常者の状態です。

■デート費用はすべて男性持ち？

二十代の若い人を除いてデート費用は男性がもつべきだという固定概念があります。あまり、こういった考え方を固定しないほうがいいです。なんでもそうです、ルールを固定すると脳がおかしくなってしまうです。出したければ出す。割り勘にしたければそうする。ご馳走して欲しければそう言う。男性が出すべきだと思っていれば、そう言う。

しかし、男性が仕事で成功したり昇進した場合などは女性がご馳走する。こんなふうに、なんでもいいので固定化しないほうがいいでしょう。

ただし、注意しなければいけないことがあります。女性のほうが、男性の給与はみんな家庭のほうに流れているという嫉妬が芽生えてしまった場合です。

嫉妬が芽生えたら、愛ではなくなります。だから、嫉妬が芽生えないように工夫したほうが良いのです。女性は、嫉妬心がすこしでも芽生えたら、正直に男性に言ったほうがいいのです。男性は、知恵を使つて、そういう心情が発生しないように工夫してアイデアを出してくることでしょう。そうやって二人で工夫していけばいいのです。方程式があつて、それに従うなんていうのは最悪の方法です。方程式は、その都度、二人で発明していくべきでしょう。

■自分の生活をすべて彼に見せないこと

女性は彼の家の中を見れないのに、男性は女性の家を見れるのは、心に不平等を生じさせる。それが恨みや妬みの原因となりそうであれば、女性は家

の中をみせるべきではないでしょう。男性も、女性の家に行って、自宅にいるような雰囲気でも飲み食いとは避けるべきでしょう。

あくまでも恋の相手として、それにふさわしい行動をしたほうがいいのです。「おい！飯はまだか」なんていうのは自宅での言葉であるべきです。自分の得意な料理を彼女のためにしてあげるといったくらいのパフォーマンスが必要です。もちろん、食器の後片付けもやってあげるのがですよ。

ただ、できるのであれば、お互いに家の中はみせあったほうがいいのです。相手の生活がわかることはとても理解を深めるからです。家の中の様子をみれば、デートでは見せなかった性格も分かります。筆者は、相談を受けたらなるべく相談者の家の中を見るようにしています。家の中を見れば、だいたいのことはわかってしまいます。玄関の様子、外回りの様子、家具の配置、壁に張っているもの、仕事のスケジュール表、などをながめていくうちに、相談者の

脳の思考の癖のようなものもわかってきます。

家の中の様子が分かってしまうと、いままで抱いていた思いはただの幻想だったということが分かるものです。

■不倫の二人は写真はとったほうがいいか？

不倫関係にある場合は写真をとらないほうがいいとか、くだらないノウハウが本や雑誌にか書かれています。こんな発想しかできないようではどんな恋をしても、独身者同士であったとしても幸せにはなりえません。まず、全ての写真は、撮影してしばらくの期間を楽しんだら処分すべきなのです。

なぜか？ 過去に重心をおかないためです。過去ではなく今現在に重心を

おくのが輝ける生き方です。どんなに楽しかった過去よりも、今のほうが楽しいという人生にする義務があるのです。昔は良かったというのは、もう社会活動を引退し、死ぬのをまっけている廃人です。

今を最高に楽しむこと。過去よりも常に今のほうが幸せであるべきなのです。だから、過去を懐かしんでいる時間はなく、過去の写真などはどうでもいいのです。もしも、過去の二人のほうが幸せだったなんていう思いがあるのであれば、今現在、あなたは生きていません。過去にしがみついている亡霊のようなものです。もし写真などをみて懐かしがっているようなら、写真は処分すべきです。

■彼と結婚したらすべてうまくいくか？

彼が妻と別れてくれて、独身になって彼と結婚したら幸せになれる？と思っ
ている若い不倫中の女性が多いことに驚きます。まるで少女漫画の世界です。
欲求というのは満足させた時点から、つまらなくなつて不満を持つ性質であ
ることを知らないのですね。今まで、欲求を満足させた経験がないのかもし
れません。

彼と結婚したいという思いは、彼を一人占めしたいという欲求があるから
です。欲求というのは達成した時点でつまらなくなるので、もしも結婚した
らその直後から不満を感じるようになるのです。また、妻という位置に幻想
を抱いています。つまり、今の自分の位置が劣っていて、彼の妻のほうが勝っ
ているという劣等感を感じているわけです。どちらが上だとか、どちらが幸
福だとかを考える程度の心情のレベルだと、間違いなく二人とも不幸になっ

てします。

優劣をなげつけなければならぬのでしょうか。どうやったら、うまくいくのか？を考えるのではなく、どうやったら、彼はもつと幸せになるのだろうか。もつと成功するのだろうか。と考えるのです。そこには、自分のことを考える余地はないのです。百パーセント相手のことだけを考える、それが本当の愛です。自分の幸せを優先しているようでは愛とは言えません。多くの若い女性が、自分の幸せを優先して考えるあまりに結婚を後悔しているという現実があります。

■不倫で安らぎと発展はあるのか？

愛する彼が精神的に成長していけば必ず社会的にも成功していきます。それを見守るのは女の冥利ではないでしょうか。そして愛した分だけ、女性も愛情というスピリチュアル的能力が成長します。愛したい女性は成長するのです。

彼の前で泣くのは、欲深い女、支配欲の強い恐ろしい女だと思われるだけです。あなたが男性だったらどうするべきか教えましょう。放っておけばいいのです。なぐさめる手段はないのだから。なぐさめるとその味を覚えてしまいます。

どんな状況になっても男性は女性から見ても、魅力的であるにはどうすればいいのか？だけを考えていけばいいのです。戦争中は、男は国のために戦って死ぬ決意をもっていました。だから女はそういう男をたてて、尽くして愛したのです。会社の悪口を言い、国の悪口を言い、上司の悪口を言い、不満

を言う男には魅力はないのです。命をかけている男は魅力がありません。

死ぬ決意をもって、やっている男は愛されるのです。計算してずるくやろうなんていう男は愛されません。だから、高学歴の男性は、結婚の対象にはなれるかもしれませんが意外と愛されないので。福島原発の事故で、東京電力のエリート達がTVに映っていましたが、女性達から愛される顔をしていただけでしょうか？ 自分には責任がないというずるい顔をしている連中ばかりでしたね。列車の事故があったからと言って自殺したJRのエリート社長がいましたが、こういうのは命がけとは言いません。大きな敵や目標に立ち向かって生きていないからです。

■彼を引き止めないこと

不倫相手の女性がよく出す言葉が、「私をいつも置いて家に帰ってしまおうね。」です。これは寂しいという感情が沸くからと考えてしまいますが、実は心情の奥底には、彼の妻がうらやましいと感じている気持ちがあるのです。

自分のほうが劣っていて彼の妻のほうが勝っているという気持ちが隠れています。だから、劣等感が根底にあつて、それが逆転すると 相手を支配しようとしている欲求になるのです。

女性がこんな言葉を出して相手を支配しようとする、相手の男性も女性を支配しようとしています。結局、醜い政治の権力闘争になってしまいます。不倫でもそうではない恋でも、一番重要なのは相手の自由を束縛しないことです。束縛されると魂が「危ない逃げろ」という反応をします。自分以外の誰かが、自分を支配することを魂は嫌います。自分の命は自分でしか責任をもてない

のですから当然のことです。自分の人生は自分でしか責任をもてません。たとえ正式に結婚したからと言っても、夫や子供が自分の人生の責任を背負ってくれることはありません。

だから、彼がいつ帰ろうとそれを認めることです。認められないなら、正直にそう言うべきです。その結果、別れることになるのであればそれはもとも縁がなかったというだけのことです。縁があつて恋仲になつたのであれば、どんなにトラブルがあつても、不思議と縁は切れないものなのです。

■不倫の宿泊旅行は悲しみを増す？

最初の一泊はもうこれ以上なにもいらないと思うかもしれない。でも、な

んどか繰り返すともっと欲しくなる。朝のコーヒーを一緒に飲みたい。彼の寝顔をみていたい。だから、不倫相手と宿泊旅行をすると悲しみを増すから、旅行はしないほうがいいというカウンセラーがいます。本当に少女漫画の世界ですね。彼の妻がそんなことを思っているでしょうか？ たまには、ゴミを出してよ。トイレ掃除をして欲しい。洗濯物が乾いたら取り込んで欲しい。こんなことばかり、思っているはずですよ。どんどん宿泊旅行してみればいいのです。一緒に過ごす時間が長いと、本性が分かかってきますから。

■不倫すると奥さんと家族を恨むようになる？

不倫すると相手の奥さんがうらやましく思い、さらには恨みをもつようになる

ると言われていますが、本当でしょうか。こんなウソを平気で言うのは、家庭生活は、現実の生活の場であることを知らないお嬢さん育ちの心理カウンセラーでしょう。筆者は、北国に住んでおりますが、妻の仕事といえば、冬は早朝から除雪です。夏は冬に備えて丸太をチェーンソーで切断し薪割りをします。6月から8月は雑草が猛烈に伸びるので毎日草引きをします。それにくわえて犬の世話をします。短時間で掃除と洗濯をしなければなりません。夜はPTAの会合とか、地元の集会とかいろいろあります。愛だの恋だの言つて、化粧している時間はなく、スカートはいている時間もありません。都会暮らしをしていても、家の仕事が少ないかわりに、外で共働きをしているケースが多いでしょう。こんな家庭という現実生活をまったく経験をしたことのない未熟で無知な女性のみが、奥さんと家族を恨むようになるわけです。

ただ、ちょっと待ってくださいね。未熟で無知な女性とは、男性も不倫し

たくはありません。しても、楽しくないですから。だから、実際には、不倫すると奥さんと家族を恨むようになることはないのです。

■不倫の女ができると妻に大体ばれる？

不倫をしている男性の場合、ばれるのは覚悟しておいたほうがいいでしょう。どうせばれるのなら、こそこそやらずに、正直に最初から振舞ったほうが夫婦の仲は悪くなりません。ただ、どこの誰なのかわからない状態では妻も不安になることでしょうから、なんらかの形で顔見知りになったほうがいいかと思えます。不倫していることを妻が感じ取ると、いろいろな手法を使って相手がだれなのかを知るようになります。知られたとき、女性からみてい

いい女だと安心します。夫を助けてくれる女だと思えば安心します。妻は相手が家庭を壊さないまともな女だったら一安心するのです。また、夫がそれで元気になって仕事で活躍してくれて給与がアップするならそれでいいと思います。

40才を過ぎてくると妻にとって一番困るのは、お前は妻だから、老後の俺の面倒を見ろよと召使や家政婦のかわりに使われることです。浮気もしてないし、愛人もつくらなかつたのだから、それくらいやる義務があるという言葉を聞かされるよりも、元気にして飛び回っているほうが、妻も気が楽だというものです。離婚裁判をしている女性達の話しを聞いてごらん下さい。夫が外に女を作るほどの甲斐性があれば、離婚もしやすいのに。ダメ男だからそんな勇氣もなく、老後が心配だからと言って、なかなか離婚届けに印鑑を押ししてくれないという不満がとても多いのです。

■彼に責任を背負ってもらおう？

男性というのは愛人ができると責任感を感じてしまうものです。責任感を感じない男性がいるとしたら、そんな男性は女性から愛されることはありません。一夫多妻制の鹿という動物でさえ、メスを守るために大変なエネルギーを使うものです。しかし、そのエネルギーが多すぎて冬を越せずに春の雪解けの時期になると立派なオスの鹿が死んでいる光景をよく見ます。

もし肉体関係をもったのだから男として責任をとってくださいという心情がすこしでも芽生えるようなら、その心情は男性からエネルギーを奪いとります。女性から要求されるたびに男性は命のエネルギーを消耗していくわけ

ですから、だんだんとその女性を恨むようになってきます。生きていくための本能がそうさせるのです。

だから、賢い女性は男性に責任を要求しません。むしろ、責任を開放してあげ、楽にしてあげるものです。長年にわたって良好な愛人関係が続けている女性はそういった賢さがあります。男性を解放してあげるためには、女性自身が男性に経済的にも精神的にも依存していないことが重要です。

どっちが上とか下という概念はなく、どっちが面倒をみるとかみられるという概念もなく、お互いに自立しているカップルが穏やかな関係を継続しているのです。筆者が知る限り、最高のカップルというのは、さらさらした関係性をつくっているケースがほとんどです。

■将来の約束をしない彼は無責任か？

女性という存在は将来の安定を約束して欲しいと思っています。だから、安定していると予想される妻という位置へのあこがれや家庭や子供を持つというあこがれなどもあるわけです。しかし、将来の安定ということを根本的に理解している若い女性は、企業家をのぞいてほとんどいらないと言っているでしょう。

安定しているように見える大企業が、どれだけ毎日変化に対応するため自分自身の思考パターンを変え続けているか、街のラーメン屋さんでも、おなじょうに見える味であっても、毎年のようにちよつとづつ工夫を続けて変化をしている店だけが、安定して発展しているのです。つまり、変化をしていることが安定なわけです。

いっぽうで、町役場の公務員は、今の段階ではそういう環境にはおかれていませんから、毎日同じような仕事を同じようにやって、給与をもらえます。しかし、そういう安定した公務員を夫にもった妻が、安定に満足しているかといえ、不満足なほうが多いという事実があります。当たり前ですね。変化しなくてもいいという思考回路しかもっていない人は、家庭のなかでも、同じように変化を嫌う思考で生活をしていきます。

周囲の子供が、塾に通えば自分の子供も通わせる。周囲の子供が水泳を習えば自分の子供も習わせる。そこには、自分の子供の特性を見抜いて、自分の子供だけの教育方針を決めようという思考がありません。だから、公務員を夫に持つ妻は、頭が悪い夫と言って、馬鹿にする人が多いのです。そして夫が頼りにならないので、筆者のところにご相談におとづれるわけです。あるいは、夫以外に、自営業の彼を作ってしまうかもしれません。

自分の将来は明るいと自信をもっている成功している実力のある男性でさえ、じゃあ具体的にどうなの？と質問されれば、1年先は読めても5年先は読めないでしょう。最近では、1年先の業績予想をあえて発表しない大企業も増えてきました。ものすごい勢いで時代が変化しているので、机上の空論など役に立たないことを経験しているからです。

だから、将来を約束しない男性は実力があって、正直者です。将来を約束する男性は実力がなく、ホラ吹きのパseudo善者です。

■妻と愛人の違いはセックスにある

会うたびにセックスをしたいと思うような相手が愛人です。会って映画を見て、そのまま別れるなんていうのは愛人関係ではありません。五感のすべてを使って相手を感じようとするのが愛人です。味覚と臭覚と聴覚と視覚と触覚すべてを使って相手を感じようとすると溶け合うことができません。自分の感覚を研ぎ澄ましてペニスと膣のまぐあいを中心に、呼吸をあわせて、お腹の動きをあわせていくとエネルギーの交換が始まります。性の中枢だけに集中するのではなく、全身を性にするつもりで感じるのです。性的な興奮を超えて自分自身の魂との会話、祈りのような、瞑想のような状態になるまで溶け合うのです。女性は乳房から愛のエネルギーがあふれるのを感じることでしよう。男性は射精という目標を忘れるくらいに平安がおとづれることでしよう。

注意点があります。普通のセックスではこれからなにが起きるのだろうと

いう期待に焦点をあわせてしまいます。彼女は満足してくれるだろうか。彼は私の肉体を気に入ってくれるだろうか。そんなことばかり考えていますが、相手に焦点を合わせないのです。オルガスムも期待しません。なにも期待しません。

ただ、自分のエネルギー状態と感覚だけに焦点をあわせるのです。今の流行の言葉で表現するとセフレということになるでしょうか。しかし、スピリチュアル的なセフレとは、相手の肉体を楽しむということではないのです。相手を通して自分のなかの男性と女性の両方の性エネルギーを出会わせるということなのです。セックスは扉であって、目的ではないのです。目的は、自分のなかの男性と女性の両方を感じ取り、宇宙と一体化することなのです。

人の心というのは、どうしても先へ先へと走りたがる傾向があります。だ

から運命学を使って未来を予知したがりです。株式投資やFXをやれば過去を分析して未来を予知したがりです。そして、そういう過去の本当はでたらめでなんの法則もない株価の動きや為替の動きをチャートにしてみても、無理矢理に法則やパターンを発見して、大喜びしているのが知的といわれる人です。

セックスをしている間もそうです。最初は胸から愛して、次はここを愛撫して、次はこうして、最後はこうなって完了するというふうな目的と手順を決めたがりです。

今の瞬間をとことん楽しみ、味わいつくしこれからどうなるかは考えないというセックスをしなければ至福は味わうことができません。最後にどうなるかなど考えずに起こるがままを楽しむというのが禅的なセックスです。射精をしなければいけないなんて考えません。男性の愛撫によっても感じなければならぬということも考えません。

これからどうなるのかをまったく考えないでいいのが本当の愛人です。2人の中には目標などありません。関係性を常に改善していこうというノルマもありません。なにが起こるのかは自分のエネルギーにすべてゆだねます。だから、本当の愛人とデートしてセックスしている瞬間はとても精神が開放され陰と陽のエネルギーが循環し、至福の時間となるわけです。この至福の感覚を全身で覚えておけばやがて相手がいなくても一人でベッドに横たわっていると、きでさえ、その感覚を思い出すだけで至福の時間となります。これはマスターベーションとはまったく異なります。マスターベーションとは性器と頭だけでやるものであり、全身の感覚を使っていないからです。

女性がこれから先のことを保証して欲しいなんていう要求をした瞬間に、もう本当の愛人ではなくなります。未来の準備を始めた瞬間から至福の時間を

味わうことができないのですから、セックスは楽しくなくなりそうです。

いっぽうで、妻とは共同生活のパートナーですから、衣食住を常に計画的に考えなければなりません。この違いは大きいし、共同生活のパートナーと常にセックスをしたいという男性は、筆者の知る限り性欲処理の都合の良い相手として妻を扱っていることが多いのです。

だから、妻のくせにセックスを拒否するとはなにごとかと文句を言っています。無料でいつでもセックスの相手をして、飯を作って、風呂をわかして、洗濯をして、世話をしないといけないのが妻だということなんです。まるで結婚という契約で買ってきた女奴隷ですね。妻の側からすれば、夫としての役目も果していない、困ったことがあっても相談にもものつてくれないし、家事も手伝ってくれない。そんな夫に、抱かれるのはまっぴらごめんだという声が多くあります。

男性は、生活のこまごまとしたことを妻に依存し、妻は経済を夫に依存しているのです、お互い様なんですね。だから、お互いに自立した女と自立した男のセックスには、依存関係がなく、お互いに平等の立場にあるので、今だけのセックスを楽しめるのです。

重要なことがあります。経済的に相手に依存した関係では絶対にセックスをしてもエネルギーの交流は生まれません。経済的な援助を受けるほうが、必ず忍耐と我慢をするようになり、性エネルギーの解放はできなくなり、その結果、嫉妬や恨みの感情が沸いてくるのです。

経済的に自立していると、嫉妬や恨みが発生する前に別れることができま

す。女性側からすると、男性を愛したいと思わなくなったら、縁をいつでも切れます。縁を切られた男性は、愛されるだけの魅力がなかったと反省し、ま

すます、男を磨くために仕事や社会活動に励むことでしょう。魅力がないと分かってしている男性に限って、過去の女を追いかけます。新しい女に愛してもらって自信がないからです。

精力面でパワーのない男性と恋をするのは、女性にとってあきらかに楽しくありません。ただし、これも違った観点から見ると実際には、社会で勝ち抜くパワーのある女性が、自信と経済力のない男性の面倒を見ることで支配欲を満足させている事例もあります。私がないとあんたは何もできないんだからと言って、男性を下に見下して満足している女性が実際にいるのです。

■避妊をどうするか？

女性の年齢によって避妊をどうするかは対処方法はまったく異なります。一番いいのは、荻野式を使うことです。つまり、コンドームなどの器具を使わない方法です。ゴムという人工物を通して触れ合うと、男女の電気エネルギーが循環できません。ゴムが邪魔をするのです。放出が終わったあとの性的な満足感は、放出までにどれだけ、お互いのエネルギーを相手に送ったか、相手のエネルギーをどれだけ受け入れたか、で決定されます。相手のすべてを受け入れ、相手にすべてを受け入れてもらおうと思ったら、ゴムは邪魔なのです。ゴムをしている以上、エネルギーの交換ができませんから、セックスは消耗で終わってしまいます。本来、セックスは消耗ではなく、発電機のようなものです。

そういう意味では、もう妊娠する年齢ではない40代後半からのセックス

は、とても自然なものになります。挿入したまま、数時間お互いのエネルギーを交換しあつて楽しむというゆったりとしたセックスは、20代の若い人では無理でしょう。筆者は、男性も女性も、40代後半を過ぎている場合、2人ともとても輝いて元気になっている例をたくさん知っています。いっぽうで女性の年齢が、20代から30代の妊娠できる場合は、どれだけ女性が母親として生きる実力と覚悟があるかどうかで避妊を決定したらいいかと思えます。男性が女性を見ると、その女性が母親としての役目ができるかどうかを直感で見抜くことができます。

だから、愛人としてはいいけれど、この女性に母親という仕事は無理だと感じたら、女性が妊娠を希望したとしても避妊をすべきです。逆に、この女性は母親としてやっていける覚悟と実力があると判断し、生まれた子供に金銭的な援助をできるくらいの実力のある男性なら、避妊はしなくてもいいですよ

う。ただ、現実的には、母親としての役目を果たせる実力のある若い女性が愛人をしている例は、ほとんど筆者は知りません。愛人をしている女性の相談にのっけていても、こんな女性が子供を産んだら、子供はかわいそうだなと思うことが常です。

■プレゼントはするべきか？

男女の仲になつてから最初の1〜2年間くらいは、相手が喜ぶようなものを買ってあげたいと思う気持ちが出てくるものです。しかし、何をいつ、どこで、どのくらいの価格のものを買ってあげたかを記憶しているようなら、もうそれはプレゼントではなく、所有権は相手ではなく買ったほうにあるのです。

何をいつ、どこで、どのくらいの価格のものを買ってあげたのかを忘れて
いるなら、それは所有権が相手に渡っているので、プレゼントと言えます。

まして、あのとき、こんなに高価な品物をプレゼントしてあげたのに・・・
という思いが湧いて来るようなら、プレゼントはやめましょう。話しはずれて
しまいますが、フィリピンパブが全盛期だったころ、フィリピンのマニラに
行くと、日本に出稼ぎに来ていたタレントさんが日本人のパパからもらった
ブランド品を専門に扱うショップに行ったことがあります。彼女達の目的は
ブランド品ではなく、それを質屋にいれてもらえるマネーでした。でも、日
本人のパパさんが、所有権は自分がないものだからそういう事実を知ったと
しても、さすがたくましい国の女性だと喜べるくらいなら、問題ありません。

■相手のプライベートには近よらない？

女性側はなるべく自分のプライベートは見せないようにする。彼のプライベートにも近よらないようにする。こういった愛人の掟のようなものが存在するようですが、筆者はこんなことはしないし、こんなアドバイスもしません。何ヶ月かつきあっていくうちにどうせばれるものですから、積極的にプライベートを見せるようにアドバイスをします。そうすれば女性もプライベートを見せるようになります。

そうすると、お互いに隠し事がなくなつて穏やかな関係になります。男性側が、愛人がいることを妻に隠すようになると愛人にもプライベートを隠すようになります。妻にはオープンで愛人には隠すなんていう芸当はできないのです。だれに対してもオープンであるか、だれに対してもオープンでない

かのどちらかです。男性側が自分のプライベートを見せるようになると、結婚して彼の妻になることが理想ではないということが女性にも分かってくることが多いのです。プライベートというのは、生活そのものだからです。

たとえば、筆者の場合だと、春から秋は、朝5時に起きて、牧草地の雑草を抜く、そして冬に備えて丸太をチェーンソーで切つて、薪を割る。そんな肉体労働が午前中は続きます。土・日曜日などは、子供や妻も強制的に労働させます。そうでないと、冬までに薪ストーブに使う薪を用意できないからです。雑草取りも、子供は手で草引きをさせ、妻には草刈機でやつてもらいます。蛇や蜂などの虫が多いので、耳までふさぐタオルをかぶり、長靴を履いての作業です。畑には野菜を植えていて、害虫駆除の仕事も多いものです。

スーパーで何でも買ってくればいいという生活ではありません。生ゴミの回収もしない田舎なので、自分で毎日穴を掘って生ゴミは埋めないといけま

せん。穴が浅いとキツネが来て悪さをします。冬になれば、毎朝、除雪という作業があります。コンピュータを使う仕事は、太陽が沈んでからで十分です。太陽がのぼっている間は、野外でやることが無限にあります。田舎くらしとというのはそういうものです。筆者に愛されたいという女性が出現した場合は、そういう生活を見せて、労働をさせてみます。そしたら、妻がうらやましいという幻想など抱かなくなります。必要とされるのは筋肉の力と、畑仕事の才能であり、オナナの才能は要求されない現実が分かるからです。実際に体験させないと「えゝそんなの信じられない」と言います。

経済的に豊かな男性というのは、外からではわかりにくいのですが、普通の男性以上に、頭も筋肉もフル回転しています。妻と子供はそのパワーについていく義務があります。新しいことをやっているから豊かになるわけですから、当然のように周囲から妬まれたり、恨まれたり、摩擦があつたりします。

筆者が取引している企業家の例で言うと、消費者センターにクレームが入って調査されたり、税務署から脱税容疑で自宅に強制調査が入ったり、警察から不法投棄の容疑で自宅を調べられたり、車が傷つけられたり、いろいろなことがあって、そのたびに家族は嫌な思いをします。そういう辛い現実の部分を見せるために、生活の手伝いをしてもらうことです。そんな現実を処理していくのが妻の役目であって、彼と結婚すればすべてが幸せに転じるなんていう幻想を抱いているのは、精神疾患のある女性に違いありません。

■恋の主導権は男性にはない

女性は愛したい生き物。男性は愛されたい生き物。だから、多くの女性か

ら愛されることを男性は気持ちよく思うのです。女性は1人の男性にしぼってとことん愛したいと思うのです。恋の始まりは、女性が発情することからスタートします。発情していないメスにはオスは手を出すことも声をかけることもできません。やっと恋仲になって、楽しい時間がすぎて、恋が終わるときは、やはり女性が決断しないといけません。

男性を愛したいかどうかだけが重要なのです。もうこんな男を愛したくはないと思えば、男はどんなにせっかく手にいれた女を手放したくはない思っても、セックスそのものが味の無いものになってしまふから、あきらめるしかないのです。金で風俗の女を買ったとしても、決して満足できないのは、風俗の女が男を愛したいと思っていないからです。ただの演技にすぎないというのを男は知っているから満足しないのです。愛されていないと感じる女性を抱くのは、男性に精神的に苦痛を与えるだけです。だから、愛すること

ができる女性は風俗でも、売れっ子になります。容姿はあまり関係ありません。もし女性が、この男を愛したくはないと決断すれば、それを正直に伝えることです。女性という生き物を多少なりとも勉強した男は、それで十分に別れを覚悟することができます。

恋の主導権を男に預けてはいけません。彼があと3年したら離婚してくれと言ったからとか、子供が学校を卒業したら結婚してくれると言ったからとか、妻の親が病気であと1年したらあの世に行くからとか、こんな言葉を真に受けてただ我慢して待つてしまうことは、恋の主導権を男に渡してしまふことになります。そうなると、もう恋ではありません。彼が離婚しようとしまいと、恋には無関係です。女性がその男を愛したいかどうかだけが問題なのです。男は自分を愛してくれる女（自分だけのものになりたいという独占欲と支配欲は愛ではない）を裏切りません。

■古代中国の陰陽性エネルギーの教え

・妻は財という運命学の真意

一晩に十二名の妃と性交渉を持つとされたのが古代中国の皇帝です。満州族が中国大陸を支配する前の西暦700年までの中国は女性を大切に扱っていました。中国が世界の文明の中心だった頃です。四柱推命では妻は財産とされていますが、財星は妻をあらわすことから、財星はお金と女性というふうに解釈しているのが現代の四柱推命学です。

しかし、本当は、女性という存在そのものが、男性にとっては財産だという

ことなのです。男性のあふれんばかりの陽のエネルギーを女性に注入し、心身をいやしてもらおうという存在が陰エネルギーの女性だと知っていたのですね。ここでいう注入とは射精を意味しません。むしろ、保精といって精をもらさないセックスをしていたので、一晩に皇帝はたくさん女性の性とまぐあいができたのです。皇帝の精力剤といってあやしげな漢方が販売されていますが、これんかは完全なでつちあげです。

近代の中国では女性は商品として売買されるなど、男性の性処理の対象とだけみなす時代が続きましたが、これでは中国の発展はありません。愛のないうセックスは男性の精神を傷つけます。射精を繰り返す性欲処理としてのセックスは男性の肉体を傷つけます。愛もなく射精を繰り返すだけの短時間セックスは男性の肉体と精神を傷つけるとされていたのが道教の教えです。

男性と女性の性エネルギーを交換し合い、利他的な愛のエネルギーを発電し、それを漏らすことなくほかの人達（国民）に愛のエネルギーを拡散していくことが皇帝のセックスだったのです。

男性は21年かけて女性を研究しなければならないというのが道教の教えです。最初の7年は女性の肉体のリズムを学び、次の7年で女性のハートを学び、次の7年で女性の霊性を学びます。21年かけてお互いの性エネルギーは神のレベルにまで変容させることができますとあります。道教の修行者が、専念しなければいけないことは、陰と陽のエネルギーの調和と融合だけであり、調和は一人でもできて普通の愛のレベルですが、融合は男性と女性が必要で慈愛・博愛といったレベルになります。

慈愛とか博愛のレベルの愛情まで達すると、毎日の単調な生活が新鮮で感

動の毎日となります。朝起きて窓から風景を眺めて感動し、散歩して感動し、洗濯をして感動し、太陽を眺めて感動するといった宇宙の愛の波動を常に感じ取ることができるからです。

イエスが開発したものではない近代のキリスト教原理が浸透しているアメリカを観察してごらんさない。簡単に離婚するでしょう。これは、食事をするとおなじように愛も自分以外の外から吸収して食べようとしているからです。何度も何度も、繰り返し、相手から愛を奪おうとしているのが陰と陽の融合こそが愛の発電機になりえるということを知らないキリスト教原理に洗脳された人達です。嫉妬や妬みなども、愛を相手から奪おうとしているので起ってくるわけです。相手が自分のことをわかってくれないという不満も、自分のなかに愛の発電機の片方があることを知らないから起ってくるわけです。

す。

・山と谷のオルガズム

セックスの快感がペニスに集中している男性はさつさと射精だけで終わってしまいます。これを山のオルガズムといって一瞬で終わってしまいます。これでは女性はつまらないです。もともと男性の武器はペニスだけ。女性の武器はクリトリスと膣という盾と剣をもっているのですから、勝負になりません。

しかし、女性とエネルギーの交換をしているという五感全体の快感に集中している男性は、内的な安心感を感じいつまでも楽しむことができます。爆発をともわかない、エネルギーの波が継続してやってくる状態を谷のオルガズムといいます。男性は爆発したい陽のエネルギーを女性の陰のエネルギー

で冷やすつもりでいてください。女性は男性から熱い陽のエネルギーをもらうつもりでいてください。射精しそうになったら挿入を浅めにするのもひとつの技法です。女性は、声を出すことを恥ずかしいと思っははいけません。声をもらすときは、のどにある高次元のチャクラが発動している証拠なので、すから、そのまま声を思い切ってもらってください。陰と陽のエネルギーが交換がはじまるとのどが刺激されるのですから。

多くのプロスポーツのアスリート達は、試合前はセックスを禁じられています。精を漏らすとエネルギーが消耗するからです。しかし、超一流のアスリートは、試合前でも愛を楽しんでいます。精を漏らさないまぐあい習得しているからです。愛を楽しむと陰と陽のエネルギーが融合した形で増大するので試合でも結果を出すことができるわけです。ただ、相手をとことんまで破

壊し傷つけるような残酷なスポーツは、陽エネルギーの過多の状態のほうがいいのかもしれませんが。

・財運のときが結婚運であるという真意

男性にとって未来予知をする場合に財星運のときが結婚のときであるという理論がありますが、これは当たりますがその理論が示すとおり行動をしている場合に当たります。財とは相手を剋して支配するという意味がありますから、積極的に出会いを求めていく活動が要求されるのです。筆者は今年が財運の時ですから、積極的ににお見合いをして新しい妻を捜し求めています。詳細はまた別冊で紹介することにしませう。

一方で女性にとつては**官星運**が結婚のときであるという理論がありますが、これも当たりますがその理論が示すとおりの行動をしている場合に当たります。官星とは押されたらY E Sという相手に従う勇気を示します。だから男性からプロポーズされたらまずはY E Sと言う勇気がなければ官星の行動とはいえないのです。

■至福への道

さて、いよいよ最後になってきましたが、ここまでくるとだいぶ脳のストレッチもされてきているので、重要なことを説明します。

生エネルギー

生きるということは、こうあって欲しいという人間の願望とはことごとく違った方向で進んでいくものです。生きたいという生の衝動をおさえると80歳を越えてもまだ死にたくないという醜い老人になってしまいます。死にながら生きてしまうからです。自分はそうではないと自信がある人でも、自分を疑ってみてください。

- ・安全な道を選んでいないか？
- ・将来が不安だからといって危険を恐れていないか？
- ・周囲の批判を恐れて妥協していかないか？
- ・自分には無理だと勝手に決め付けていることはないか？
- ・今の快適な生活環境を守るためになにかをあきらめていないか？

- ・ 恋人に嫌われたくないばかりに我慢していることはないか？
- ・ 結婚すると面倒なので結婚を避けていることはないか？
- ・ 離婚すると大変なのでしかたなく結婚を続けていることはないか？
- ・ 性欲だけを満足させるために風俗を利用していることはないか？
- ・ 異性に心を開くことを恐れていないか？
- ・ 振られることを恐れて異性にアプローチをすることをあきらめていないか？

- ・ 運命の相手を探していないか？
- ・ 素敵な王子様を探していないか？

安全な道？

安全な道を選択した人が、そのあと20年も経過すると不安定になっ

ることが多いものです。筆者のまわりでも最近の不況によってリストラされて自己破産した人が沢山いますが、彼らは20年前に筆者が独立するのを笑った連中です。独立は損するぞと言われたものです。結局、そのような損とか得とかを考えて生きるということは、生の衝動を殺して生きることですから、死にながら生きていくことになります。

ゆだねる

愛情においても、生のエネルギーは予測できません。おなじパートナーとつきあうこともあれば、どんどん違うパートナーとつきあうこともあるでしょう。まったくパートナーと縁のないときもあるでしょう。恋愛は自分の思うとおりに百パーセントすすみません。最初は思い通りだったという幻想を抱くかもしれませんが、それが10年も継続することはありません。どんな

未来が待ち構えていようと、すべてを生のエネルギーにゆだねていくことがポイントです。自分自身のエネルギーに素直に従っていれば、人とも親密になれるものです。自分のエネルギーに素直に従っているとこれまでの恋人と別れることもあるでしょう。家族と縁を切らないといけないこともあるでしょう。過去のエネルギーを破壊しないといけないときもあるでしょう。なにがあるか予想ができませんが、予想できない生のエネルギーの扉が開かれることを楽しむことができれば人生は豊かになります。

自分自身のエネルギーに従っていないとどんな人とも親密な関係はできません。本当の自分がなにをしたがっているのかを自分の内側にはいつて観察することがポイントです。

愛の詩

「カリール・ジブラン 預言者」より抜粋した詩を紹介しましょう。

仲がよくても距離をおきなさい

愛し合っても愛で束縛してはいけない

互いのカップに注ぎあっても、ひとつのカップからは飲まないこと

一緒に楽しんでも、お互いを独りにしておくこと

同じ音楽で震えるバイオリンの弦のように

愛情を与え合っても、それをしまい込まないように

一緒にたつときも、近くにより過ぎないこと

神殿の柱は離れて立っているのだから

■最後に

依存心

自分の運命をだれかに依存してはいけません。自分の運命や悩みを解説してくれると誰かに期待してはいけません。相手が、仏陀であろうと、イエスキリストであろうと、どこかの宗教の教祖であろうと、占い師であろうと、魔術師であろうと、霊媒師であろうと、自分の運命を解説してくれると、期待してしまつと、そこから依存心が芽生え、その依存心は、悪霊のもつとも好む食料になつてしまいます。仏教の修行の掟に、修行の最中に仏陀が現れたら仏陀を即座に殺さねばならぬとあるのは、こういう依存心の悪影響を何百年にもわたつて経験してきた結果の知恵なのです。

自分の運命の解説は、自分だけでやるものです。そのための分析道具として、

運命学を利用するのは効果的ですが、依存してはいけません。自分は依存していないと思っているかもしれませんが、自分以外の誰かが発明した運命学の理論を知りたいという欲求が治まらない間は、運命学に依存している証拠です。

運命学の理論は依存心を誘発する魅力をもっていますから、注意しなければなりません。理論は自分にあつたものを発明するつもりでいてください。筆者はもう本の理論を参考にすることはありません。自分にあつた理論は自分で発見し、それだけを使います。どんな流派も筆者には魅力がありません。自分の人生には適用できないという検証を徹底して行つたからです。

愛は失敗するもの

愛について語るなら、愛の波動が自分に生じたらそれに従うしかありません。けれどその道は失敗と困難が連続します。愛は人を成長させもするし、人を破壊もします。なにかがあっても身をゆだねるしかありません。それが怖いなら愛のない無感動の世界に行くしかありません。愛を自分勝手に理解するがために悩み苦しむのです。愛は人を王のようにもするし乞食のようにもします。両方がやってくるのです。

悲しみと喜び

しかし、悲しみと喜びはエネルギーの両面だということを覚えておくといいでしょう。喜んでいるとき、あなたの背後にはもう悲しみのエネルギーがやってきています。悲しんでいるとき、あなたの背後には、もう喜びのエネルギーがやってきています。喜びも悲しみも越えたとき、はじめてバランスがとれ

るのです。

悲しいとき、心が苦しいとき、それは自分のこれまでの理解できる範囲の殻を破ろうとしているときです。だから思い切り苦しむほうがいいのです。

友情

愛が行き着く先は友情です。友情とは自分の魂を深めるために存在するものです。それ以外は友情とは言えません。

語ること

心が不安なとき、人は語るが多くなります。心が安定しているとき、人は沈黙します。

信仰

信仰とは生活そのものです。午前中は仕事の時間、午後は自分の時間。夜は神様の時間。こんなふうにはなりえません。信仰や宗教をヨロイや道德のように身にまとい持っている人がいます。裸のほうがよく、魂を深めることができます。

死とは

死の意味を知りたい人が多いですが、死と生は同じエネルギーの裏と表です。ですから、思い切り生きないと死は理解できません。

あけわたしのまぐあい

男性は自分の心のなかの孤独、寂しさ、嬉しいこと、楽しいこと、すべてを

女性にあげわたすつもりでまぐあいをすべきです。そうすると、陽エネルギーが女性に注入され女性は陰のエネルギーでそれを受け入れ、女性も解放されます。男性が女性に隠していることがあるとエネルギーをあけわたさないの
で女性はそれを感じ取り自分勝手な男と思つてしまいます。結局、信頼関係
がないと性の喜びはありえないのです。